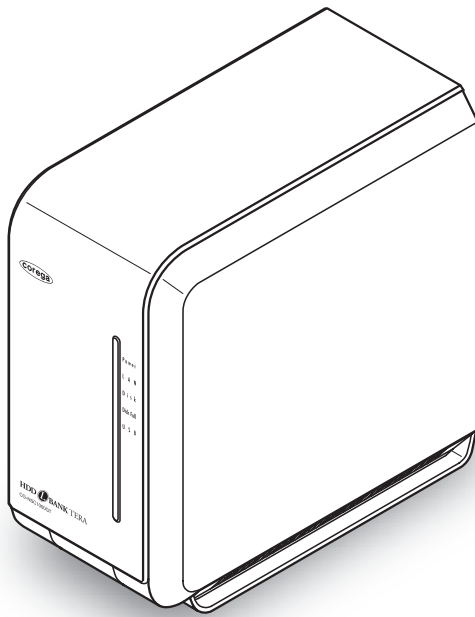




# CG-NSC1000GT 詳細設定ガイド



## Contents

設定画面の詳細説明

1

こんなときにはこの  
設定（機能編）

2

こんなときにはこの設定  
（サポート編）

3

付属の「取扱説明書」を必ずお読みになり、正しく設置・操作してください。

# はじめに

---

このたびは、「CG-NSC1000GT」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本書は本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。

また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、コレガホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

**<http://corega.jp/>**

---



---

## 本書の読み方


---

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

### ■記号について

 注意	操作中に気をつけていただきたい内容です。必ずお読みください。	 メモ	補足事項や参考となる情報を説明しています。
---	--------------------------------	---	-----------------------

### ■表記について

本商品	CG-NSC1000GT のことです。
「 」－「 」－「 」	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[ ]	[ ] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：  → [OK]
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista® Home Basic、 Microsoft® Windows Vista® Home Premium、 Microsoft® Windows Vista® Business および Microsoft® Windows Vista® Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system および Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system

※本書では、複数の OS を「Windows XP/2000」のように併記する場合があります。

### ■イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

---

## マニュアルの種類と使い方

---

本商品には次のマニュアルがあります。本商品をお使いになる状況に合わせて、それぞれのマニュアルをご覧ください。

### ■取扱説明書

安全にお使いいただくためのご注意、お使いの環境に合わせた本商品の設定方法、ネットワークドライブをマウントする設定について説明しています。また、「Q&A」では代表的なトラブルとその対処方法を説明しています。

### ■詳細設定ガイド (PDF マニュアル・本書)

設定画面の詳細説明、本商品を活用するための機能などについて説明しています。

## 本書の構成

---

本書は、本商品を使いこなすための詳細な設定方法、使い方について説明しています。本書の構成は次のとおりです。

### ■第 1 章 設定画面の詳細説明

本章では、設定画面を使って本商品を設定する方法について説明しています。

### ■第 2 章 こんなときにはこの設定 (機能編)

本章では、本商品を活用するための機能について説明します。

### ■第 3 章 こんなときはこの設定 (サポート編)

本章では、本商品の各サポート機能の設定方法について説明します。



# 目次

はじめに .....	2
本書の読み方 .....	3
マニュアルの種類と使い方 .....	4
本書の構成 .....	4
目次 .....	5
<b>第 1 章</b>	
<b>設定画面の詳細説明 .....</b>	<b>9</b>
1.1 トップページ .....	10
1.1.1 共有フォルダにアクセスする .....	10
1.1.2 各設定画面を開く .....	12
1.2 ユーザ別フォルダ .....	13
1.2.1 ユーザ別フォルダ (トップ画面) .....	13
1.2.2 ユーザ別フォルダ (サブフォルダ画面) .....	14
1.3 パブリックデータ .....	17
1.3.1 パブリックデータ (トップ画面) .....	17
1.3.2 パブリックデータ (サブフォルダ画面) .....	18
1.4 ユーザパスワード .....	20
1.5 ユーザ .....	21
1.5.1 ユーザリスト .....	22
1.5.2 新規ユーザ .....	24
1.6 ステータス .....	26
1.6.1 システム .....	27
1.6.2 プリンタ .....	29
1.6.3 HDD/USB .....	29
1.7 ネットワーク .....	31
1.7.1 IP アドレス .....	33
1.7.2 DNS サーバ .....	33
1.7.3 ジャンボフレーム .....	34
1.8 システム .....	35
1.8.1 基本設定 .....	36
1.8.2 日時設定 .....	37
1.8.3 オプション .....	39
1.9 メディア .....	41
1.9.1 iTunes サーバ .....	42
1.9.2 MP3 サーバ .....	43
1.9.3 DLNA サーバ .....	44
1.10 グループ .....	45
1.10.1 新規グループ .....	46
1.10.2 グループリスト .....	46
1.11 共有フォルダ .....	49
1.11.1 共有フォルダリスト .....	50

1.11.2	新規共有フォルダ .....	52
<b>1.12</b>	<b>バックアップ .....</b>	<b>53</b>
1.12.1	設定バックアップ .....	54
1.12.2	データバックアップ .....	54
<b>1.13</b>	<b>HDD/USB .....</b>	<b>59</b>
1.13.1	フォーマット .....	60
1.13.2	スキャンディスク .....	62
1.13.3	S.M.A.R.T. ....	63
1.13.4	スタンバイ .....	63
<b>1.14</b>	<b>FW アップデート .....</b>	<b>64</b>

## 第2章

### こんなときにはこの設定（機能編）..... 67

<b>2.1</b>	<b>ユーザを追加する .....</b>	<b>68</b>
<b>2.2</b>	<b>グループを追加する .....</b>	<b>70</b>
<b>2.3</b>	<b>共有フォルダを追加する .....</b>	<b>72</b>
<b>2.4</b>	<b>インターネット経由で共有ファイルを表示する .....</b>	<b>76</b>
2.4.1	本商品を設定する .....	76
2.4.2	ルータを設定する .....	77
2.4.3	Web ブラウザで共有フォルダを表示する .....	78
<b>2.5</b>	<b>プリントサーバ機能を使う .....</b>	<b>80</b>
2.5.1	プリンタが使用できることを確認する .....	80
2.5.2	Windows Vista でプリントサーバを設定する .....	81
2.5.3	Windows XP でプリントサーバを設定する .....	83
2.5.4	Windows 2000 でプリントサーバを設定する .....	86
<b>2.6</b>	<b>iTunes の音楽ファイルを共有する .....</b>	<b>89</b>
2.6.1	iTunes サーバ機能を設定する .....	89
2.6.2	音楽ファイルをコピーする .....	90
2.6.3	音楽ファイルを再生する .....	91
<b>2.7</b>	<b>MP3 を共有する .....</b>	<b>92</b>
2.7.1	MP3 サーバ機能を設定する .....	92
2.7.2	MP3 ファイルをコピーして再生する .....	93
<b>2.8</b>	<b>DLNA で共有する .....</b>	<b>95</b>
2.8.1	DLNA サーバ機能を設定する .....	95
2.8.2	DLNA 機器で再生する .....	97
<b>2.9</b>	<b>USBストレージのデータをコピーする .....</b>	<b>98</b>
2.9.1	コピーボタンでデータをコピーする .....	98
2.9.2	USBストレージを取り外す .....	99
<b>2.10</b>	<b>データをバックアップする .....</b>	<b>101</b>
2.10.1	バックアップの種類について .....	101
2.10.2	パソコンのデータを本商品にバックアップする .....	102

---

---

2.10.3 本商品のデータをパソコンにバックアップする .....	104
2.11 ごみ箱機能を使う .....	107
2.12 自動リポート（再起動）機能、自動シャットダウン機能を使う .....	108

### 第3章

<b>こんなときはこの設定（サポート編） .....</b>	<b>109</b>
3.1 管理者のパスワードを設定する .....	110
3.2 設定をバックアップする／元に戻す .....	112
3.2.1 設定をバックアップファイルに保存する .....	112
3.2.2 設定を元に戻す .....	113
3.3 最新のファームウェアにアップデートする .....	116
3.4 工場出荷時の状態（初期値）に戻す .....	119
3.4.1 初期化ボタンで初期化する .....	119
3.4.2 設定画面で初期化する .....	120
おことわり .....	121



# 第 1 章

## 設定画面の詳細説明

本章では、設定画面を使って本商品を設定する方法について説明しています。

1.1	トップページ .....	10
1.2	ユーザ別フォルダ .....	13
1.3	パブリックデータ .....	17
1.4	ユーザパスワード .....	20
1.5	ユーザ .....	21
1.6	ステータス .....	26
1.7	ネットワーク .....	31
1.8	システム .....	35
1.9	メディア .....	41
1.10	グループ .....	45
1.11	共有フォルダ .....	49
1.12	バックアップ .....	53
1.13	HDD/USB .....	59
1.14	FW アップデート .....	64

# 1.1 トップページ

本商品にログインすると、トップページが表示されます。



## ① ユーザー別フォルダ、パブリックデータ

HDD 内の共有フォルダにアクセスします。

- 👉 P.10 「1.1.1 共有フォルダにアクセスする」
- 👉 P.13 「1.2 ユーザー別フォルダ」
- 👉 P.17 「1.3 パブリックデータ」

## ② ユーザーパスワードの変更

管理者ユーザーおよびユーザーのパスワードを変更できます。

- 👉 P.20 「1.4 ユーザーパスワード」

## ③ 管理者ログイン

各設定画面を開きます。

- 👉 P.12 「1.1.2 各設定画面を開く」

## 1.1.1 共有フォルダにアクセスする

共有フォルダにアクセスするには、次の手順に従ってください。

- 1 「ユーザー別フォルダ」または「パブリックデータ」をクリックします。

## 2 「ユーザー名」に「admin」と入力して、[OK] をクリックします。




- ・ 管理者ユーザ名の工場出荷時設定は「admin」、パスワードは空白です（設定されていません）。パスワードを変更している場合は、変更後のパスワードを入力してください。
- ・ 新規に作成したユーザで共有フォルダにアクセスする場合は、作成したユーザ名とパスワードを入力してください。ユーザについて詳しくは、P.24 「1.5.2 新規ユーザ」をご覧ください。
- ・ 「ゲスト (guest) ユーザログイン有効」にチェックが付いているときは、ユーザー名「guest」、パスワード空白でログインできます。ゲストユーザについて詳しくは、P.39 「1.8.3 オプション」をご覧ください。


## 3 共有フォルダが表示されます。



※画面は「ユーザ別フォルダ」の例です。

共有フォルダの操作方法は、次の項目をご覧ください。

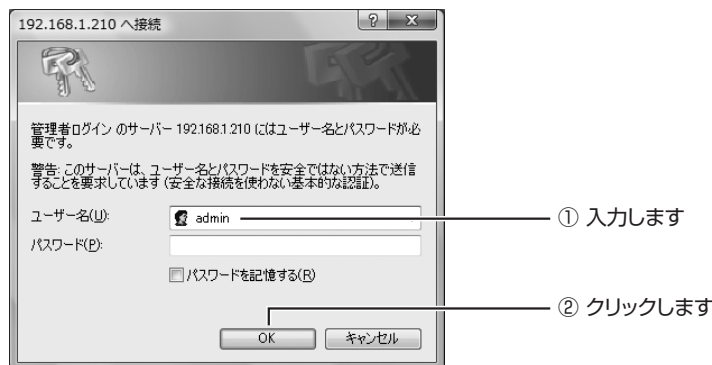
 P.13 「1.2 ユーザ別フォルダ」

 P.17 「1.3 パブリックデータ」

## 1.1.2 各設定画面を開く

各設定画面を開くには、次の手順に従ってください。

- 1 「管理者ログイン」をクリックします。
- 2 「ユーザー名」に「admin」と入力して、[OK] をクリックします。



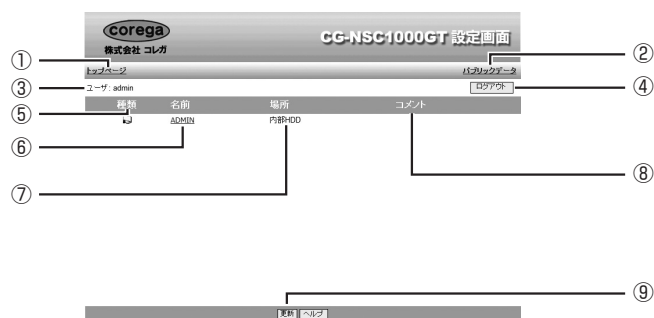
- ・ 管理者ユーザの工場出荷時設定は「admin」です。変更できません。
- ・ 管理者ユーザパスワードの工場出荷時設定は空白です（設定されていません）。パスワードを変更している場合は、変更後のパスワードを入力してください。
- ・ 新規に作成したユーザおよびゲストユーザでは、設定画面を開くことはできません。管理者ユーザ（admin）でのみ設定画面を開くことができます。管理者ユーザについて詳しくは、P.20 「1.4 ユーザパスワード」をご覧ください。



## 1.2 ユーザ別フォルダ

ユーザ別フォルダ画面の使い方を説明します。表示する手順は、P.10 「1.1.1 共有フォルダにアクセスする」をご覧ください。

### 1.2.1 ユーザ別フォルダ（トップ画面）



#### ① トップページ

ログアウトして、トップページに戻ります。

P.10 「1.1 トップページ」

#### ② パブリックデータ

パブリックデータ画面を表示します。

P.17 「1.3 パブリックデータ」

#### ③ ユーザ

ログインしているユーザ名を表示します。

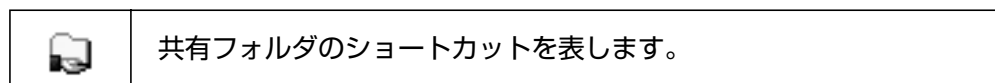
#### ④ [ログアウト]

ログアウトして、トップページに戻ります。

P.10 「1.1 トップページ」

#### ⑤ 種類

アイコンで共有フォルダ、ファイルなどを表示します。



#### ⑥ 名前

フォルダ名を表示します。クリックすると、サブフォルダの内容を表示します。

#### ⑦ 場所

フォルダのある場所を表示します。

## ⑧コメント

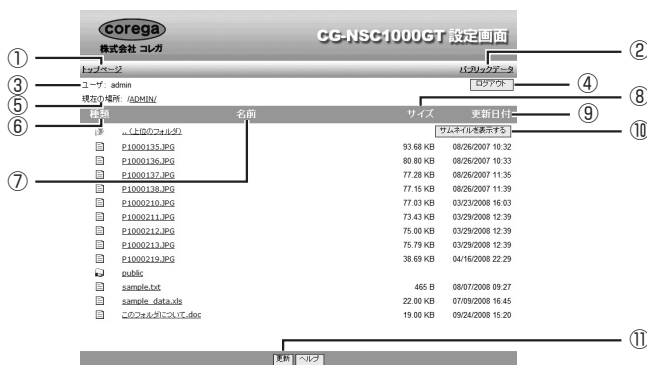
フォルダにコメントを付けているときに表示されます。

🔍 P.52 「1.11.2 新規共有フォルダ」

## ⑨ [更新]

最新の情報に更新します。

## 1.2.2 ユーザ別フォルダ (サブフォルダ画面)



※画面は例です。

### ①トップページ

ログアウトして、トップページに戻ります。

🔍 P.10 「1.1 トップページ」

### ②パブリックデータ

パブリックデータ画面を表示します。

🔍 P.17 「1.3 パブリックデータ」

### ③ユーザ

ログインしているユーザ名を表示します。

### ④ [ログアウト]

ログアウトして、トップページに戻ります。

🔍 P.10 「1.1 トップページ」

### ⑤現在の場所





サブフォルダの場所を表します。クリックすると、フォルダを移動します。

フォルダの区切りは「/」で表示します。例えば、最上位のフォルダが「ADMIN」で、サブフォルダが「test」の場合、次のように表示します。

/ADMIN/test/

## ⑥種類

アイコンで、共有フォルダ、ファイルなどを表示します。

	サブフォルダを表示します。また、ショートカットとして設定されているフォルダを表示します。
	サブフォルダを表示します。 フォルダ名をクリックすると、サブフォルダに移動します。
	上位にフォルダがあることを表示します。 「.. (上位のフォルダ)」をクリックすると、上位フォルダに移動します。
	ファイルを表示します。 ファイル名をクリックすると、Web ブラウザ上で開くか、関連付けられたアプリケーションを使って開くか、またはファイルをダウンロードします。 ※ファイルの種類、お使いのパソコン (OS、Web ブラウザ、インストールされているアプリケーションなど) によって、動作が異なります。

## ⑦名前

フォルダ名、ファイル名などを表示します。クリックしたときの動作については、⑥種類をご覧ください。

## ⑧サイズ

ファイルを表示しているときに、そのファイルの容量を表示します。

## ⑨更新日付

サブフォルダまたはファイルを表示しているときに、そのサブフォルダまたはファイルの更新日時を表示します。

## ⑩ [サムネイルを表示する]

クリックすると、P.16 「 サムネイル表示」に変わります。

## ⑪ [更新]

最新の情報に更新します。

## ■サムネイル表示



※画面は例です。

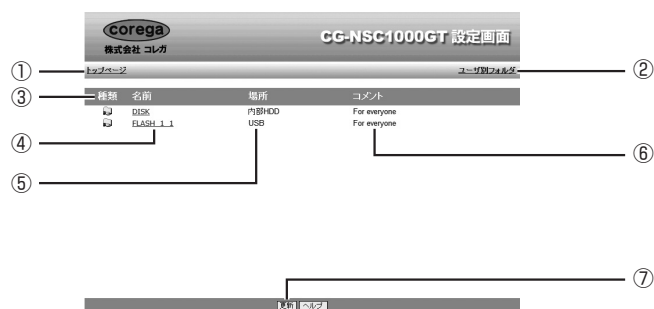
### ① 【詳細を表示する】

クリックすると、P.14 「1.2.2 ユーザ別フォルダ (サブフォルダ画面)」に戻ります。

## 1.3 パブリックデータ

ユーザ別フォルダ画面の使い方を説明します。表示する手順は、P.10 「1.1.1 共有フォルダにアクセスする」をご覧ください。

### 1.3.1 パブリックデータ（トップ画面）



※画面は例です。

#### ① トップページ

トップページに戻ります。

P.10 「1.1 トップページ」

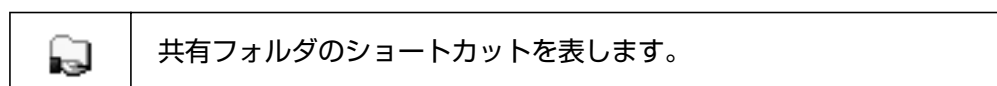
#### ② ユーザ別フォルダ

ユーザ別フォルダ画面を表示します。

P.13 「1.2 ユーザ別フォルダ」

#### ③ 種類

アイコンで共有フォルダ、ファイルなどを表示します。



#### ④ 名前

フォルダ名を表示します。クリックすると、サブフォルダの内容を表示します。

#### ⑤ 場所

フォルダのある場所を表示します。

#### ⑥ コメント

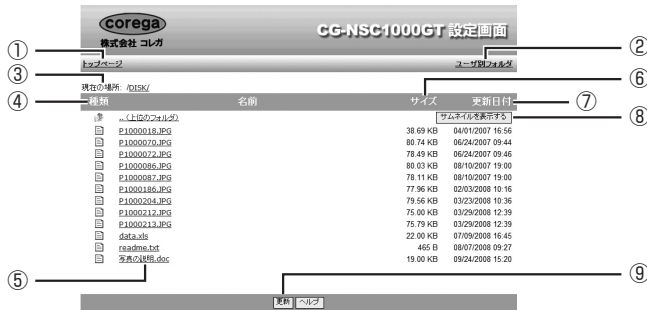
フォルダにコメントを付けているときに表示されます。

P.52 「1.11.2 新規共有フォルダ」

#### ⑦ [更新]

最新の情報に更新します。

## 1.3.2 パブリックデータ (サブフォルダ画面)



※画面は例です。

### ① トップページ

トップページに戻ります。

P.10 「1.1 トップページ」

### ② ユーザ別フォルダ

ユーザ別フォルダ画面を表示します。

P.13 「1.2.1 ユーザ別フォルダ (トップ画面)」

### ③ 現在の場所

サブフォルダの場所を表します。クリックすると、フォルダを移動します。

フォルダの区切りは「/」で表示します。例えば、最上位のフォルダが「DISK」で、サブフォルダが「test」の場合、次のように表示します。

/DISK/test/

### ④ 種類

アイコンで、共有フォルダ、ファイルなどを表示します。

	サブフォルダを表します。また、ショートカットとして設定されているフォルダを表します。
	サブフォルダを表します。フォルダ名をクリックすると、サブフォルダに移動します。
	上位にフォルダがあることを表します。「.. (上位のフォルダ)」をクリックすると、上位フォルダに移動します。



ファイルを表示します。

ファイル名をクリックすると、Web ブラウザ上で開くか、関連付けられたアプリケーションを使って開くか、またはファイルをダウンロードします。

※ファイルの種類、お使いのパソコン（OS、Web ブラウザ、インストールされているアプリケーションなど）によって、動作が異なります。

### ⑤名前

フォルダ名、ファイル名などを表示します。クリックしたときの動作については、④種類をご覧ください。

### ⑥サイズ

ファイルを表示しているときに、そのファイルの容量を表示します。

### ⑦更新日付

サブフォルダまたはファイルを表示しているときに、そのサブフォルダまたはファイルの更新日時を表示します。

### ⑧【サムネイルを表示する】

クリックすると、P.19 「■ サムネイル表示」に変わります。

### ⑨【更新】

最新の情報に更新します。

## ■サムネイル表示



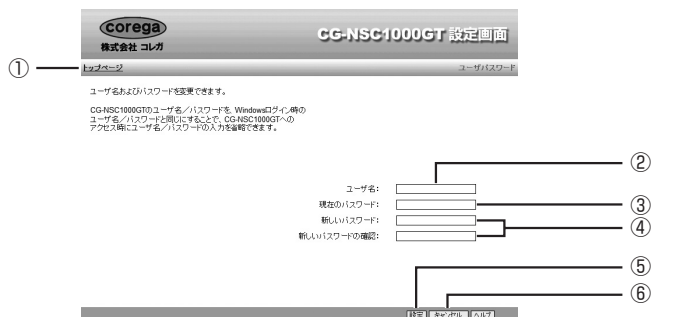
※画面は例です。

### ①【詳細を表示する】

クリックすると、P.18 「1.3.2 パブリックデータ（サブフォルダ画面）」に戻ります。


## 1.4 ユーザパスワード

トップページで「ユーザパスワードの変更」をクリックすると、管理者ユーザ（admin）およびユーザのパスワードを変更できます。



### ① トップページ


トップページに戻ります。

 P.10 「1.1 トップページ」

### ② ユーザ名

管理者ユーザ名（admin）またはユーザ名を入力します。

管理者ユーザ以外のユーザは、あらかじめ登録しておく必要があります。

 P.24 「1.5.2 新規ユーザ」

### ③ 現在のパスワード

現在使用しているパスワードを入力します。

管理者ユーザ（admin）の工場出荷時のパスワードは（設定されていません）。

### ④ 新しいパスワード、新しいパスワードの確認

新しく設定するパスワードを入力します。半角英数字および記号で、16 文字以内で入力してください。

### ⑤ 【設定】

設定を有効にします。

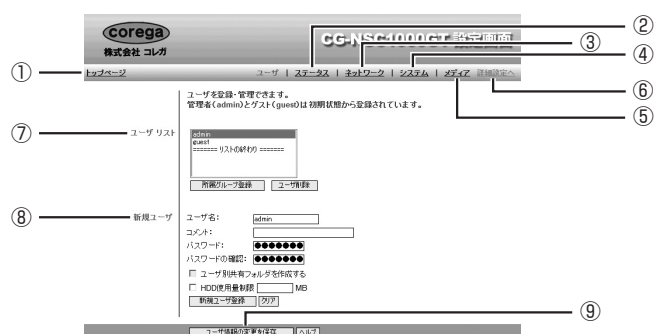
### ⑥ 【キャンセル】

【設定】 をクリックする前の状態に戻します。




## 1.5 ユーザ

ユーザの登録、所属するグループの設定ができます。



### ① トップページ

トップページに戻ります。

 P.10 「1.1 トップページ」


### ② ステータス

ステータス画面を表示します。

 P.26 「1.6 ステータス」


### ③ ネットワーク

ネットワーク画面を表示します。

 P.31 「1.7 ネットワーク」


### ④ システム

システム画面を表示します。

 P.35 「1.8 システム」


### ⑤ メディア

メディア画面を表示します。

 P.41 「1.9 メディア」


### ⑥ 詳細設定へ

詳細設定のグループ画面を表示します。

 P.45 「1.10 グループ」

### ⑦ ユーザリスト

登録されているユーザを表示します。また、所属するグループを設定します。

 P.22 「1.5.1 ユーザリスト」

## ⑧新規ユーザ

新しいユーザを作成します。

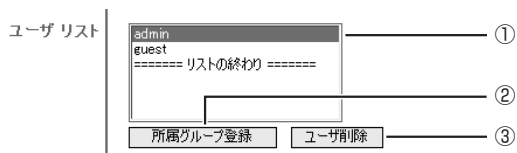
🔗 P.24 「1.5.2 新規ユーザ」

## ⑨ [ユーザ情報の変更を保存]

設定した内容を保存します。

## 1.5.1 ユーザリスト

登録されているユーザを表示します。また、所属するグループを設定します。



### ①ユーザ

登録されているユーザを表示します。

admin (管理者ユーザ) および guest (ゲストユーザ) はあらかじめ登録されています。削除できません。

### ② [所属グループ登録]

ユーザを選択してクリックすると、そのユーザが所属するグループを設定できます。

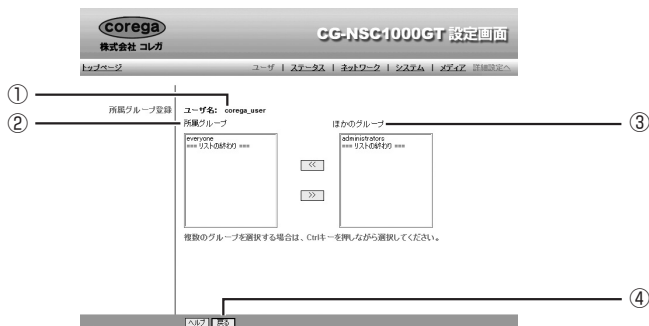
🔗 P.22 「■ 所属グループ登録」

### ③ [ユーザ削除]

ユーザを選択してクリックすると、そのユーザを削除できます

🔗 P.23 「■ ユーザ削除の確認」

## ■所属グループ登録



※画面は例です。

### ①ユーザ名

選択されているユーザ名を表示します。

**②所属グループ**

ユーザが所属しているグループを表示します。所属グループから外すには、グループを選択して、[>>] をクリックします。


グループについて詳しくは、P.45 「1.10 グループ」をご覧ください。

**③ほかのグループ**

ユーザが所属していないグループを表示します。所属グループに追加するには、グループを選択して、[<<] をクリックします。

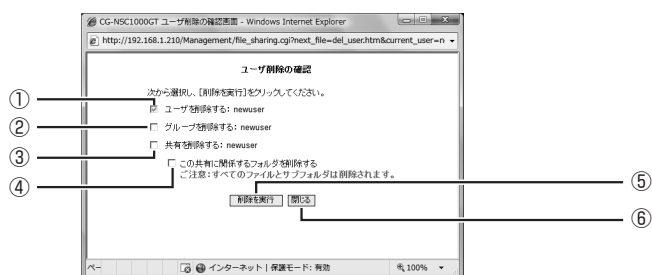
**④ [戻る]**

ユーザ画面に戻ります。

 P.21 「1.5 ユーザ」

**■ユーザ削除の確認**

ユーザ削除の確認画面では、ユーザだけでなくグループなどを同時に削除する設定ができます。

**①ユーザを削除する**

表示されているユーザを削除します。チェックを外すことはできません。

**②グループを削除する**

チェックを付けると、表示されているグループを削除します。グループが作成されていないときは削除できません。

**③共有を削除する**

チェックを付けると、表示されている共有フォルダを削除します。ただし、④にチェックを付けない限り、フォルダおよびフォルダ内のデータ自体は削除されません。また、共有フォルダが作成されていないときは削除できません。

**④この共有に関係するフォルダを削除する**

チェックを付けると、削除するユーザに関係するフォルダおよびフォルダ内のデータを、すべて削除します。共有フォルダが作成されていないときには削除できません。

**⑤ [削除を実行]**

クリックすると、削除を実行します。

## ⑥ 【閉じる】

削除を実行せずにユーザ画面に戻ります。

## 1.5.2 新規ユーザ

新しいユーザを作成します。

新規ユーザ

ユーザ名: admin ①

コメント: ②

パスワード: ●●●●●● ③

パスワードの確認: ●●●●●● ③

ユーザ別共有フォルダを作成する ④

HDD使用量制限 [ ] MB ⑤

新規ユーザ登録 ⑦

クリア ⑥

### ①ユーザ名

選択しているユーザの設定を表示します。「リストの終わり」を選択するか、「クリア」をクリックすると、すべての項目が空白となり、新しいユーザを入力できます。

新しいユーザ名は、半角英数字および記号で、16 文字以内で入力してください。ただし、次の記号は入力できません。

"/ ¥ [ ] : ; ! = . , + \* ? < > ' `

### ②コメント

ユーザの説明を入力します（必須ではありません）。

コメントは、半角英数字および記号で、16 文字以内で入力してください。ただし、次の記号は入力できません。

! ¥ : " , ' `

### ③パスワード、パスワードの確認

パスワードを入力します。

パスワードは、半角英数字および記号で、16 文字以内で入力してください。

なお、空白にするとパスワードなしになります。

### ④ユーザ別共有フォルダを作成する

チェックを付けると、①ユーザ名と同じ名前の共有フォルダを作成します。作成されたフォルダは、P.13 「1.2 ユーザ別フォルダ」に表示されます。

### ⑤ HDD 使用量制限

チェックを付けると、ユーザが使用できるハードディスクの最大容量を、1MB ～ 99999MBの範囲で制限できます。1MB 単位で入力してください。

### ⑥ 【新規ユーザ登録】

クリックすると、新しいユーザを作成します。



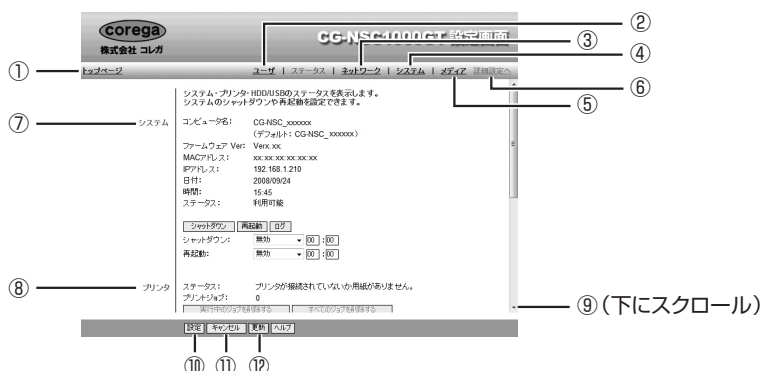
すでに登録しているユーザの設定を変更したときは、[新規ユーザ登録]ではなく、[ユーザ情報の変更を保存]をクリックしてください。

⑦ 【クリア】

①～⑥を空白にします。新しいユーザの設定を入力する前に、クリックします。


## 1.6 ステータス

システムの状態、接続しているプリンタまたは USB ストレージの情報を表示します。



### ① トップページ

トップページに戻ります。

 P.10 「1.1 トップページ」


### ② ユーザ

ユーザ画面を表示します。

 P.21 「1.5 ユーザ」


### ③ ネットワーク

ネットワーク画面を表示します。

 P.31 「1.7 ネットワーク」


### ④ システム

システム画面を表示します。

 P.35 「1.8 システム」


### ⑤ メディア

メディア画面を表示します。

 P.41 「1.9 メディア」


### ⑥ 詳細設定へ

詳細設定のグループ画面を表示します。

 P.45 「1.10 グループ」

### ⑦ システム

システムの状態を表示します。また、定期的に再起動するといった設定もできます。

 P.27 「1.6.1 システム」


## ⑧ プリンタ

プリンタを接続しているときに、プリンタの状態を表示したり、印刷ジョブを削除したりできます。

 P.29 「1.6.2 プリンタ」

## ⑨ HDD/USB (画面を下にスクロールすると表示されます)

内部に取り付けたハードディスクの情報を表示します。また、USB デバイスを接続しているときに、USB デバイスの情報を表示したり、取り外したりできます。

 P.29 「1.6.3 HDD/USB」

## ⑩ [設定]

設定を有効にします。

## ⑪ [キャンセル]

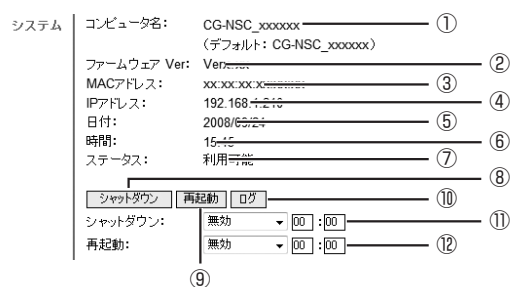
[設定] をクリックする前の状態に戻します。

## ⑫ [更新]

最新の情報に更新します。


## 1.6.1 システム

システムの状態を表示します。また、定期的に再起動するといった設定もできます。



## ① コンピュータ名

本商品のコンピュータ名を表示します。コンピュータ名は、システム画面で変更できます。

 P.35 「1.8 システム」

## ② ファームウェア Ver

本商品のファームウェアのバージョンを表示します。


## ③ MAC アドレス

本商品の MAC アドレスを表示します。

## ④ IP アドレス

---

本商品の IP アドレスを表示します。IP アドレスは、ネットワーク画面で変更できます。

 **P.31** 「1.7 ネットワーク」

⑤日付

現在の日付を表示します。

⑥時間

現在の時刻を表示します。

⑦ステータス

本商品が使用できる状態かどうかを表示します。

⑧【シャットダウン】

クリックすると、本商品をシャットダウンします。



シャットダウンする前に、ほかのユーザが本商品にアクセスしていないことを確認してください。なお、ハードディスクにアクセスしているときは、アクセスが終わったあとでシャットダウンします。

⑨【再起動】

クリックすると、本商品を再起動します。



再起動する前に、ほかのユーザが本商品にアクセスしていないことを確認してください。なお、ハードディスクにアクセスしているときは、アクセスが終わったあとで再起動します。

⑩【ログ】

システム状態のログを表示します。

⑪シャットダウン

シャットダウンをスケジュール設定できます。「毎日」、または「毎週月曜日」～「毎週日曜日」のいずれかを選択し、時刻を入力します（24 時間表示）。

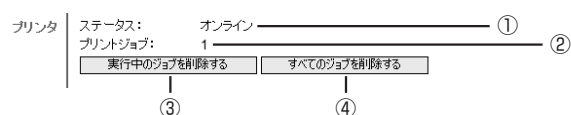
⑫再起動

再起動をスケジュール設定できます。「毎日」、または「毎週月曜日」～「毎週日曜日」のいずれかを選択し、時刻を入力します（24 時間表示）。



## 1.6.2 プリンタ

プリンタを接続しているときに、プリンタの状態を表示したり、印刷ジョブを削除したりできます。



### ①ステータス

プリンタの状態を表示します。

### ②プリントジョブ

印刷ジョブの数を表示します。

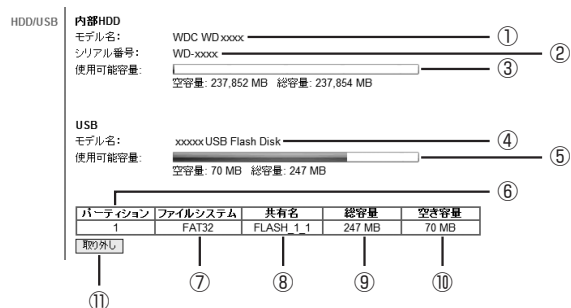
### ③ [実行中のジョブを削除する]

クリックすると、印刷中のジョブを削除します。

### ④ [すべてのジョブを削除する]

クリックすると、すべての印刷ジョブを削除します。

## 1.6.3 HDD/USB



### ①モデル名

ハードディスクのモデル名を表示します。

### ②シリアル番号

ハードディスクのシリアル番号を表示します。

### ③使用可能容量

ハードディスクの使用容量をグラフで、空き容量と総容量を数値 (MB 単位) で表示します。

### ④モデル名

USB ストレージのモデル名を表示します。

---

---

⑤使用可能容量

USB ストレージの使用容量をグラフで、空き容量と総容量を数値（MB 単位）で表示します。

⑥パーティション

USB ストレージのパーティション番号を表示します。


⑦ファイルシステム

USB ストレージのファイルシステム（フォーマット形式）を表示します。

USB ストレージのパーティション番号を表示します。

⑧共有名

USB ストレージの共有名を表示します。「パブリックデータ」に共有フォルダとして表示されます。

 P.17 「1.3.1 パブリックデータ（トップ画面）」

⑨総容量

USB ストレージの総容量を表示します。

⑩空き容量

USB ストレージの空き容量を表示します。

⑪ [取り外し]

USB ストレージを取り外すときにクリックします。クリックしたあと、④モデル名に「イジェクトしました」と表示されたら、USB ストレージを取り外すことができます。

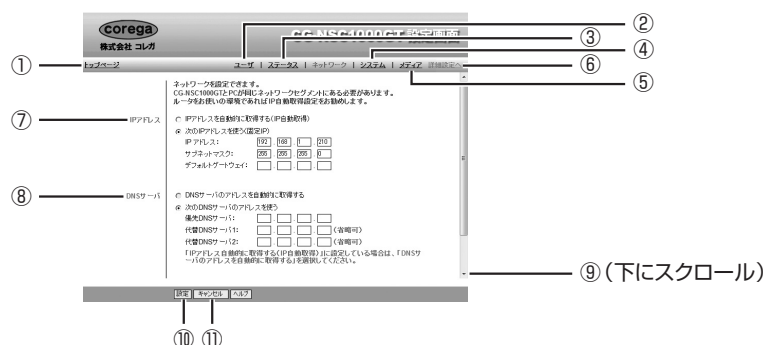


USB ストレージを取り外すときは、必ず [取り外し] をクリックするか、または本商品の背面にある取り外しボタンを押したあとで、取り外してください。詳しい手順は、P.99 「2.9.2 USB ストレージを取り外す」をご覧ください。

## 1.7 ネットワーク


本商品の IP アドレスおよび DNS サーバのアドレスを、お使いのネットワーク環境に合わせて設定します。詳しい手順は、次のマニュアルをご覧ください。

 CG-NSC1000GT 取扱説明書「3.4 本商品を設定する」



### ① トップページ

トップページに戻ります。

 P.10 「1.1 トップページ」

### ② ユーザ

ユーザ画面を表示します。

 P.21 「1.5 ユーザ」

### ③ ステータス

ステータス画面を表示します。

 P.26 「1.6 ステータス」


### ④ システム

システム画面を表示します。

 P.35 「1.8 システム」


### ⑤ メディア

メディア画面を表示します。

 P.41 「1.9 メディア」

### ⑥ 詳細設定へ

詳細設定のグループ画面を表示します。

 P.45 「1.10 グループ」

### ⑦ IP アドレス


本商品の IP アドレスを設定します。

 P.33 「1.7.1 IP アドレス」

---

⑧ DNS サーバ

本商品の DNS サーバのアドレスを設定します。

 P.33 「1.7.2 DNS サーバ」

⑨ジャンボフレーム（画面を下にスクロールすると表示されます）

ジャンボフレームを設定します。

 P.34 「1.7.3 ジャンボフレーム」

⑩【設定】

設定を有効にします。

⑪【キャンセル】

【設定】 をクリックする前の状態に戻します。

## 1.7.1 IP アドレス

本商品の IP アドレスを設定します。お使いのネットワーク環境に合わせて設定してください。

IPアドレス	<input type="radio"/> IPアドレスを自動的に取得する(IP自動取得) _____ ①
	<input checked="" type="radio"/> 次のIPアドレスを使う(固定IP) _____ ②
	IP アドレス: <input type="text" value="192"/> . <input type="text" value="168"/> . <input type="text" value="1"/> . <input type="text" value="210"/> _____ ③
	サブネットマスク: <input type="text" value="255"/> . <input type="text" value="255"/> . <input type="text" value="255"/> . <input type="text" value="0"/> _____ ④
	デフォルトゲートウェイ: <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> _____ ⑤

### ① IP アドレスを自動的に取得する (IP 自動取得)

IP アドレスをルータから自動的に取得するときに選択します。

### ② 次の IP アドレスを使う (固定 IP)

IP アドレスを固定するときに選択します (初期値)。

### ③ IP アドレス

②を選択したときに、IP アドレスを入力します (初期値: 192.168.1.210)。

### ④ サブネットマスク

②を選択したときに、サブネットマスクのアドレスを入力します (初期値: 255.255.255.0)。

### ⑤ デフォルトゲートウェイ

②を選択したときに、デフォルトゲートウェイのアドレスを入力します (初期値: なし)。

## 1.7.2 DNS サーバ

本商品の DNS サーバのアドレスを設定します。お使いのネットワーク環境に合わせて設定してください。

DNSサーバ	<input type="radio"/> DNSサーバのアドレスを自動的に取得する _____ ①
	<input checked="" type="radio"/> 次のDNSサーバのアドレスを使う _____ ②
	優先DNSサーバ: <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> _____ ③
	代替DNSサーバ1: <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> <省略可> _____ ④
	代替DNSサーバ2: <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> <省略可> _____ ④

「IPアドレス自動的に取得する(IP自動取得)」に設定している場合は、「DNSサーバのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。

### ① DNS サーバのアドレスを自動的に取得する

DNS サーバのアドレスをルータから自動的に取得するときに選択します。

### ② 次の DNS サーバのアドレスを使う

DNS サーバのアドレスを固定するときに選択します (初期値)。

### ③ 優先 DNS サーバ

②を選択したときに、優先 DNS サーバ (プライマリ) のアドレスを入力します (初期値: なし)。

---

#### ④代替 DNS サーバ 1、代替 DNS サーバ 2

②を選択したときに、代替 DNS サーバのアドレスを入力します（初期値：なし）。必須ではありません。

### 1.7.3 ジャンボフレーム

---

本商品に接続する LAN アダプタまたはスイッチングハブなどが、ジャンボフレームに対応しているときに設定します。お使いのネットワーク環境に合わせて設定してください。

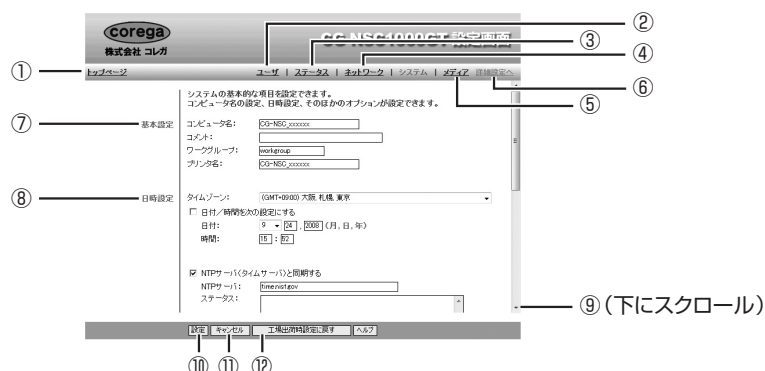
ジャンボフレーム | フレームサイズ: 15 ▼ KBytes \_\_\_\_\_ ①

#### ①フレームサイズ

最大フレームサイズを選択します（初期値：1.5KBytes）。

## 1.8 システム

本商品のコンピュータ名や日時など、基本的な項目を設定します。



### ① トップページ

トップページに戻ります。

P.10 「1.1 トップページ」

### ② ユーザ

ユーザ画面を表示します。

P.21 「1.5 ユーザ」

### ③ ステータス

ステータス画面を表示します。

P.26 「1.6 ステータス」

### ④ ネットワーク

ネットワーク画面を表示します。

P.31 「1.7 ネットワーク」

### ⑤ メディア

メディア画面を表示します。

P.41 「1.9 メディア」

### ⑥ 詳細設定へ

詳細設定のグループ画面を表示します。

P.45 「1.10 グループ」

### ⑦ 基本設定

コンピュータ名などを設定します。

P.36 「1.8.1 基本設定」

## ⑧日時設定

日時を設定します。また、NTP サーバ（タイムサーバ）の設定もできます。

🔍 P.37 「1.8.2 日時設定」

## ⑨オプション（画面を下にスクロールすると表示されます）

FTP サーバ機能、ごみ箱機能などを設定します。

🔍 P.39 「1.8.3 オプション」

## ⑩【設定】

設定を有効にします。

## ⑪【キャンセル】

【設定】 をクリックする前の状態に戻します。

## ⑫【工場出荷時設定に戻す】

本商品を工場出荷時の状態（初期値）に戻します。

詳しくは、P.119 「3.4 工場出荷時の状態（初期値）に戻す」 をご覧ください。

# 1.8.1 基本設定

コンピュータ名などを設定します。

基本設定	コンピュータ名:	<input type="text" value="CG-NSC_XXXXXX"/>	①
	コメント:	<input type="text"/>	②
	ワークグループ:	<input type="text" value="workgroup"/>	③
	プリンタ名:	<input type="text" value="CG-NSC_XXXXXX"/>	④

## ①コンピュータ名

ネットワーク上で表示されるコンピュータ名を設定します（初期値：CG-NSC\_XXXXXX（x部はMACアドレスの下6桁））。

半角英数字および記号で、14文字以内で入力してください。ただし、次の記号は入力できません。

"/ ¥ [ ] ; ; = . , + \* ? < > ` ` ( ) # \$ %

## ②コメント

ネットワーク上で表示されるコンピュータの説明（コメント）を設定します（初期値：なし）。

半角英数字および記号で、48文字以内で入力してください。ただし、次の記号は入力できません。

" ¥ : ; , ' "

## ③ワークグループ

ワークグループ名を設定します（初期値：なし）。



半角英数字および記号で、15 文字以内で入力してください。ただし、次の記号は入力できません。

"/ ¥ [ ] : ; | = . , + \* ? < >

#### ④ プリンタ名

プリンタ名を設定します (初期値: CG-NSC\_xxxxxx (x 部は MAC アドレスの下 6 桁))。半角英数字および記号で、20 文字以内で入力してください。ただし、次の記号は入力できません。

"/ ¥ [ ] : ; | = . , + \* ? < > ' `

## 1.8.2 日時設定

日時を設定します。また、NTP サーバ (タイムサーバ) の設定もできます。

#### ① タイムゾーン

タイムゾーンを設定します (初期値: (GMT+09:00) 大阪, 札幌, 東京)。

#### ② 日付/時間を次の設定にする

チェックを付け、日付、時刻 (24 時間表示) を設定します。[設定] をクリックすると、日時が設定され、チェックが外れます。

#### ③ NTP サーバ (タイムサーバ) と同期する

本商品の内部時計をインターネット時刻サーバと同期します (初期値: 有効)。

#### ④ NTP サーバ

同期するサーバのサーバ名または IP アドレスを入力します。

半角英数字または記号で、128 文字以内で入力してください。ただし、次の記号は入力できません。

"/ ¥ [ ] : ; | = . , + \* ? < > ' `

#### ⑤ ステータス

NTP サーバとの接続状況を表示します。

#### ⑥ NTP サーバとの同期間隔

---

---

NTP サーバと同期する間隔を、「24 時間ごと」（初期値）～「1 時間ごと」のいずれかを選択し、開始時間には最初に同期する時刻を入力します（24 時間表示）。

⑦ **【今すぐ同期する】**

クリックすると、NTP サーバにアクセスして時刻を同期します。

## 1.8.3 オプション

FTP サーバ機能、ごみ箱機能などを設定します。

オプション	<input checked="" type="checkbox"/> ゲスト(guest)ユーザログイン有効	①
	<input checked="" type="checkbox"/> AFP有効	②
	<input checked="" type="checkbox"/> FTPサーバ有効	③
	コントロールポート: <input type="text" value="21"/> (21,1024-65535)	④
	データポート: <input type="text" value="20"/> (20,1024-65535)	⑤
	<input checked="" type="checkbox"/> anonymous有効 ("guest" 権限)	⑥
	<input checked="" type="checkbox"/> UPnP 有効	⑦
	<input checked="" type="checkbox"/> ごみ箱機能有効	⑧
	ごみ箱を空にするスケジュール: 無効 <input type="text" value="00"/> : <input type="text" value="00"/>	⑨
	<input type="button" value="今すぐごみ箱を空にする"/>	⑩
	Webブラウザ コネクションポート番号: <input type="text" value="80"/>	⑪

※画面はすべてチェックを付けた例です。

### ① ゲスト (guest) ユーザログイン有効

チェックを付けると、ゲスト (guest) ユーザで共有フォルダにアクセスできるようになります (初期値: 無効)。

### ② AFP 有効

チェックを付けると、AFP (Apple Filing Protocol) を使用して、Macintosh から共有フォルダにアクセスできます (初期値: 無効)。

### ③ FTP サーバ有効

チェックを付けると、FTP (File Transfer Protocol) を使用して、共有フォルダでファイルの送受信ができます (初期値: 無効)。

### ④ コントロールポート

③にチェックを付けたとき、FTP の制御ポートを 21 または 1024 ~ 65535 の範囲内で設定します (初期値: 21)。

### ⑤ データポート

③にチェックを付けたとき、FTP のデータ転送ポートを 20 または 1024 ~ 65535 の範囲内で設定します (初期値: 20)。

### ⑥ anonymous 有効 ("guest 権限")

チェックを付けると、anonymous FTP (アノニマスFTP) サーバとして使用できます (初期値: 無効)。

### ⑦ UPnP 有効

チェックを付けると、UPnP (ユニバーサルプラグアンドプレイ) を使用します (初期値: 有効)。UPnP は Windows Vista/XP に対応しています。

---

---

**⑧ごみ箱機能有効**

チェックを付けると、ごみ箱機能を使用します。ごみ箱機能について詳しくは、P.107「2.11 ごみ箱機能を使う」をご覧ください。

**⑨ごみ箱を空にするスケジュール**

⑧にチェックを付けたとき、ごみ箱のデータを完全に削除するスケジュールを設定します。「毎日」、または「毎週月曜日」～「毎週日曜日」のいずれかを選択し、時刻を入力します（24 時間表示）。

**⑩【今すぐごみ箱を空にする】**

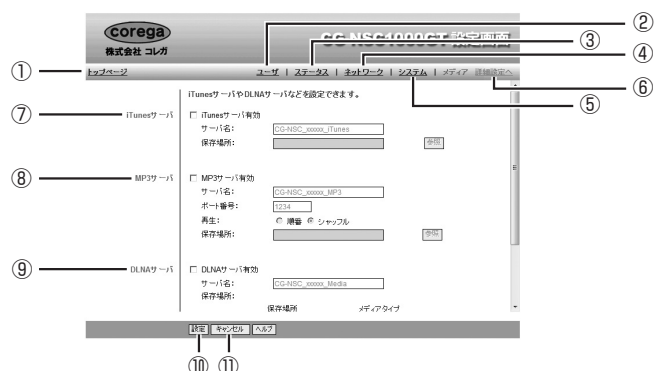
今すぐごみ箱を空にします。クリックすると、確認画面が表示されますので、[OK] をクリックして実行してください。

**⑪ Web ブラウザ コネクションポート番号**

Web ブラウザで使用するポートを設定します（初期値：80）。


## 1.9 メディア

iTunes サーバ、MP3 サーバ、DLNA サーバの設定ができます。




### ① トップページ

トップページに戻ります。

 **P.10** 「1.1 トップページ」

### ② ユーザ

ユーザ画面を表示します。

 **P.21** 「1.5 ユーザ」


### ③ ステータス

ステータス画面を表示します。

 **P.26** 「1.6 ステータス」

### ④ ネットワーク

ネットワーク画面を表示します。

 **P.31** 「1.7 ネットワーク」


### ⑤ システム

システム画面を表示します。

 **P.35** 「1.8 システム」


### ⑥ 詳細設定へ

詳細設定のグループ画面を表示します。

 **P.45** 「1.10 グループ」

### ⑦ iTunes サーバ

iTunes サーバとして使用するとき設定します。

 **P.42** 「1.9.1 iTunes サーバ」

iTunes サーバについて詳しくは、**P.89** 「2.6 iTunes の音楽ファイルを共有する」をご覧ください。

## ⑧ MP3 サーバ

MP3 サーバとして使用するときには設定します。

### 🔗 P.43 「1.9.2 MP3 サーバ」

MP3 サーバについて詳しくは、**P.92** 「2.7 MP3 を共有する」をご覧ください。

## ⑨ DLNA サーバ

DLNA サーバとして使用するときには設定します。

### 🔗 P.44 「1.9.3 DLNA サーバ」

DLNA サーバについて詳しくは、**P.95** 「2.8 DLNA で共有する」をご覧ください。

## ⑩ 【設定】

設定を有効にします。

## ⑪ 【キャンセル】

【設定】 をクリックする前の状態に戻します。

## 1.9.1 iTunes サーバ

iTunes サーバとして使用するときには設定します。

iTunes サーバについて詳しくは、**P.89** 「2.6 iTunes の音楽ファイルを共有する」をご覧ください。



### ① iTunes サーバ有効

チェックを付けると、iTunes サーバとして使用できます。

### ②サーバ名

iTunes で表示される共有名です。変更する場合は、半角英数字および記号で、24 文字以内で入力してください。ただし、次の記号は使用できません。

" ¥ : | . ' "

### ③保存場所

音楽ファイルの保存場所を表示します。【参照】 をクリックして、フォルダを指定します。

## 1.9.2 MP3 サーバ

MP3 サーバとして使用するときには設定します。

MP3 サーバについて詳しくは、P.92 「2.7 MP3 を共有する」をご覧ください。

### ① MP3 サーバ有効

チェックを付けると、MP3 サーバとして使用できます。

### ②サーバ名

MP3 再生ソフトウェアで表示される共有名です。変更する場合は、半角英数字および記号で、24 文字以内で入力してください。ただし、次の記号は使用できません。

" ¥ : | , ' "

### ③ポート番号

開放するポート番号を設定します (初期値: 1234)。変更する場合は、1024 ~ 65535 の範囲内のポートを指定してください。

MP3 再生ソフトウェアでは、次のように指定します。

例: http://192.168.1.100:1234

※本商品の IP アドレスが「192.168.1.100」で、「1234」ポートを指定した例です。IP アドレスとポート番号の間には「:」(コロン)を入力してください。

### ④再生

MP3 ファイルの再生順を指定します。「順番」または「シャッフル」(初期値)のどちらかを選択します。

### ⑤保存場所

MP3 ファイルの保存場所を表示します。[参照]をクリックして、フォルダを指定します。

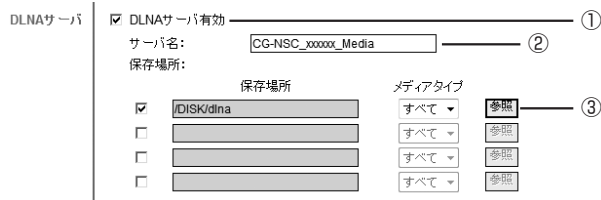
---

## 1.9.3 DLNA サーバ

---

DLNA サーバとして使用するときには設定します。

DLNA サーバについて詳しくは、P.95 「2.8 DLNA で共有する」をご覧ください。



The screenshot shows the DLNA Server settings interface. At the top, there is a checkbox labeled 'DLNAサーバ有効' (DLNA Server Enabled) with a circled '1' next to it. Below this is a text input field for 'サーバ名' (Server Name) containing 'CG-NSC\_xxxxxx\_Media', with a circled '2' next to it. Underneath is a section for '保存場所' (Storage Location) with two columns: '保存場所' and 'メディアタイプ' (Media Type). The first row has a checked checkbox, a text input field containing 'DISK\dlna', a dropdown menu set to 'すべて' (All), and a '参照' (Reference) button with a circled '3' next to it. Below this are three more rows, each with an unchecked checkbox, a text input field, a dropdown menu set to 'すべて', and a '参照' button.

### ① DLNA サーバ有効

チェックを付けると、DLNA サーバとして使用できます。

### ②サーバ名

DLNA クライアントで表示されるサーバ名です。変更する場合は、半角英数字および記号で、24 文字以内で入力してください。ただし、次の記号は使用できません。

" ¥ : | , ' "

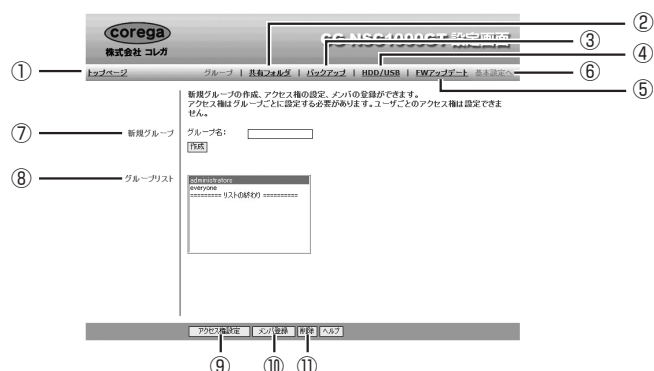
### ②保存場所

チェックを付けたあとで [参照] をクリックして、再生または表示したいファイルのフォルダを指定します。メディアタイプで、「すべて」（初期値）、「音楽」、「写真」、「動画」のいずれかを選択します。



## 1.10 グループ

新規グループの作成、アクセス権の設定、メンバの登録ができます。



### ① トップページ

トップページに戻ります。

P.10 「1.1 トップページ」

### ② 共有フォルダ

共有フォルダ画面を表示します。

P.49 「1.11 共有フォルダ」

### ③ バックアップ

バックアップ画面を表示します。

P.53 「1.12 バックアップ」

### ④ HDD/USB

HDD/USB 画面を表示します。

P.59 「1.13 HDD/USB」

### ⑤ FW アップデート

FW アップデート画面を表示します。

P.64 「1.14 FW アップデート」

### ⑥ 基本設定へ

基本設定のユーザ画面を表示します。

P.21 「1.5 ユーザ」

### ⑦ 新規グループ

新規にグループを作成します。

P.46 「1.10.1 新規グループ」


## ⑧グループリスト

登録されているグループを表示します。

 P.46 「1.10.2 グループリスト」

## ⑨ [アクセス権設定]

グループのアクセス権を設定します。

 P.47 「■ グループアクセス権」

## ⑩ [メンバ登録]

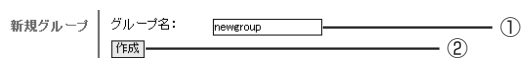
グループのメンバを設定します。

 P.48 「■ グループメンバ登録」

## ⑪ [削除]

グループを削除します。⑧でグループを選択してクリックすると、確認画面が表示されますので、[OK] をクリックしてグループを削除します。

## 1.10.1 新規グループ



### ①グループ名

新しいグループ名を入力します。半角英数字および記号で、16 文字以内で入力してください。ただし、次の記号は入力できません。

"/ ¥ [ ] : ; ! = . , + \* ? < > ` ` \$ % @

### ② [作成]

①を入力したあとでクリックすると、グループを作成します。

## 1.10.2 グループリスト

登録されているグループを表示します。



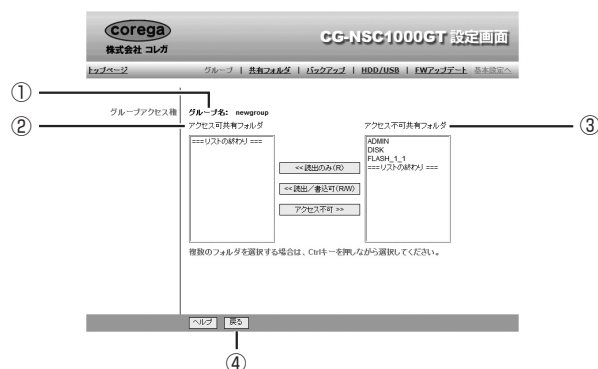
### ①グループ名

登録されているグループを表示します。クリックして選択し、[アクセス権設定]、[メンバ登録]、[削除] を実行します。

「administrators」 および 「everyone」 はあらかじめ登録されています。

## ■グループアクセス権

P.46 「1.10.2 グループリスト」でグループを選択して、[アクセス権設定] をクリックすると、表示されます。グループのアクセス権を設定します。



### ①グループ名

グループ名を表示します。

### ②アクセス可共有フォルダ

グループに属しているメンバが、アクセスできる共有フォルダを表示します。

アクセス不可共有フォルダでフォルダを選択し、[<<読出のみ (R)] または [<<読出/書込可 (R/W)] をクリックして、アクセス可共有フォルダに移動します。

読み出しのみ可能なフォルダにはフォルダ名のあとに (R) が、読み出しおよび書き込みが可能なフォルダにはフォルダ名のあとに (RW) が表示されます。

### ③アクセス不可共有フォルダ

グループに属しているメンバが、アクセスできない共有フォルダを表示します。

アクセス可共有フォルダでフォルダを選択し、[アクセス不可>>] をクリックして、アクセス不可共有フォルダに移動します。

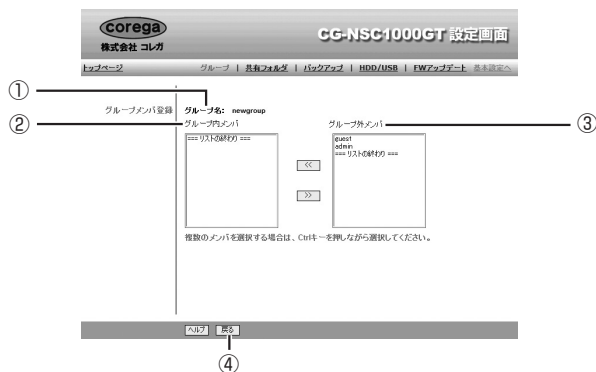
### ④ [戻る]

グループ画面に戻ります。

 P.45 「1.10 グループ」

## ■グループメンバー登録

P.46 「1.10.2 グループリスト」でグループを選択して、[メンバー登録] をクリックすると、表示されます。グループに所属するユーザを設定します。



### ①グループ名

グループ名を表示します。

### ②グループ内メンバー

グループに所属しているユーザ（メンバー）を表示します。

グループ外メンバーでユーザを選択し、[<<] をクリックして、グループ内メンバーに移動します。

### ③グループ外メンバー

グループに所属していないユーザ（メンバー）を表示します。

グループ内メンバーでユーザを選択し、[>>] をクリックして、グループ外メンバーに移動します。

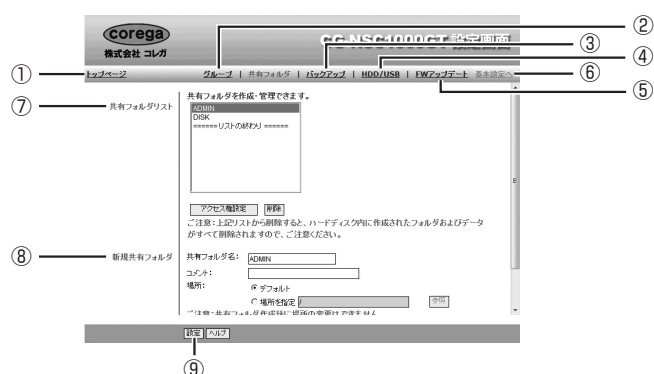
### ④ [戻る]

グループ画面に戻ります。

🔍 P.45 「1.10 グループ」


## 1.11 共有フォルダ

新規共有フォルダの作成、アクセス権の設定ができます。



### ① トップページ

トップページに戻ります。

 P.10 「1.1 トップページ」


### ② グループ

グループ画面を表示します。

 P.45 「1.10 グループ」


### ③ バックアップ

バックアップ画面を表示します。

 P.53 「1.12 バックアップ」

### ④ HDD/USB

HDD/USB 画面を表示します。

 P.59 「1.13 HDD/USB」

### ⑤ FW アップデート

FW アップデート画面を表示します。

 P.64 「1.14 FW アップデート」


### ⑥ 基本設定へ

基本設定のユーザ画面を表示します。

 P.21 「1.5 ユーザ」


### ⑦ 共有フォルダリスト

登録されている共有フォルダを表示します。

 P.50 「1.11.1 共有フォルダリスト」

## ⑧新規共有フォルダ

新規に共有フォルダを作成します。

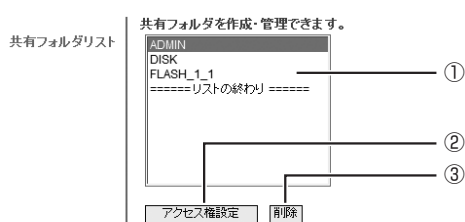
 P.52 「1.11.2 新規共有フォルダ」

## ⑨【設定】

設定を有効にします。

# 1.11.1 共有フォルダリスト

登録されている共有フォルダを表示します。




## ①共有フォルダ

共有フォルダを表示します。

ADMIN および DISK はあらかじめ登録されています。削除できません。

## ②【アクセス権設定】

共有フォルダを選択してクリックすると、その共有フォルダにアクセスできるグループを設定できます。

 P.51 「■ 共有フォルダアクセス権」

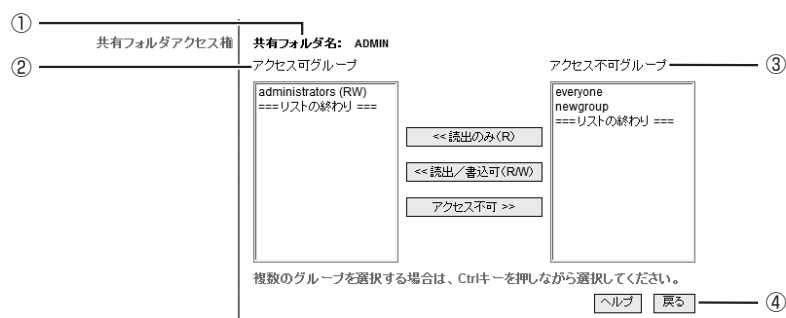
## ③【削除】

共有フォルダを選択してクリックすると、その共有フォルダを削除できます。



共有フォルダを削除すると、ハードディスク内に作成されたフォルダおよびデータがすべて削除されますので、ご注意ください。

## ■共有フォルダアクセス権



### ①共有フォルダ名

共有フォルダ名を表示します。

### ②アクセス可グループ

共有フォルダにアクセスできるグループを表示します。

アクセス不可グループでグループを選択し、[<<読出のみ (R)] または [<<読出/書込可 (R/W)] をクリックして、アクセス可グループに移動します。

読み出しのみ可能なグループにはグループ名のあとに (R) が、読み出しおよび書き込みが可能なグループにはグループ名のあとに (RW) が表示されます。


### ③アクセス不可グループ

共有フォルダにアクセスできないグループを表示します。

アクセス可グループでグループを選択し、[アクセス不可 >>] をクリックして、アクセス不可グループに移動します。

### ④ [戻る]

共有フォルダ画面に戻ります。

 P.49 「1.11 共有フォルダ」

---

## 1.11.2 新規共有フォルダ

---

新規に共有フォルダを作成します。

新規共有フォルダ

共有フォルダ名:  ①

コメント:  ②

場所:  デフォルト ③

場所を指定  参照

ご注意: 共有フォルダ作成後に場所の変更はできません。

④

### ①共有フォルダ名

共有フォルダリストで「リストの終わり」を選択するか、[クリア] をクリックすると、すべての項目が空白となり、新しい共有フォルダ名を入力できます。255 文字以内（すべて半角文字の場合）で入力してください。ただし、次の半角記号は入力できません。

"/ ¥ [ ] : ; | ! = . , + \* ? < > ' ` \$ % @

### ②コメント

共有フォルダの説明を入力します（必須ではありません）。半角英数字および記号で、48 文字以内で入力してください。ただし、次の記号は入力できません。

" ¥ : , ; | '

### ③場所

共有フォルダの場所を指定します。

「デフォルト」を選択すると、①と同じ名前のフォルダを、admin フォルダ直下に作成します。

「場所を指定」を選択して [参照] をクリックすると、フォルダの新規作成、フォルダを選択できます。

### ④【新規共有フォルダを作成】

①～③を設定してクリックすると、新規共有フォルダを作成します。



## 1.12 バックアップ

本商品の設定やデータをバックアップする設定ができます。



### ① トップページ

トップページに戻ります。

P.10 「1.1 トップページ」

### ② グループ

グループ画面を表示します。

P.45 「1.10 グループ」

### ③ 共有フォルダ

共有フォルダ画面を表示します。

P.49 「1.11 共有フォルダ」

### ④ HDD/USB

HDD/USB 画面を表示します。

P.59 「1.13 HDD/USB」

### ⑤ FW アップデート

FW アップデート画面を表示します。

P.64 「1.14 FW アップデート」

### ⑥ 基本設定へ

基本設定のユーザ画面を表示します。

P.21 「1.5 ユーザ」

### ⑦ 設定バックアップ

本商品の設定をファイルにバックアップし、元の状態に戻すことができます。

P.54 「1.12.1 設定バックアップ」

## ⑧データバックアップ

本商品のデータをパソコンなどにバックアップしたり、パソコンなどのデータを本商品にバックアップしたりできます。

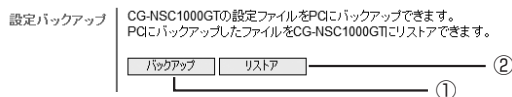
🔍 P.54 「1.12.2 データバックアップ」

## ⑨ [ログ]

データバックアップのログを表示します。

# 1.12.1 設定バックアップ

本商品の設定をファイルにバックアップし、元の状態に戻すことができます。設定バックアップについて詳しくは、P.112 「3.2 設定をバックアップする／元に戻す」をご覧ください。



### ① [バックアップ]

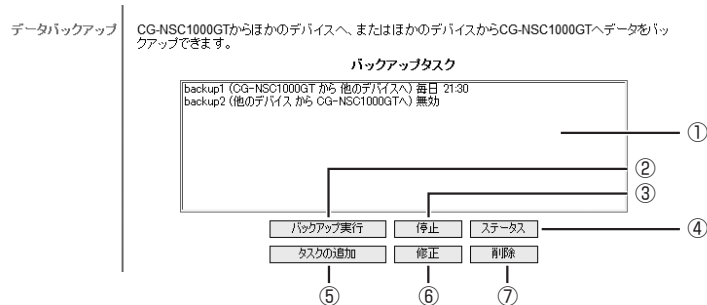
クリックすると、本商品の設定をファイルにバックアップできます。

### ② [リストア]

クリックすると、保存したファイルを使用して、設定を元に戻すことができます。

# 1.12.2 データバックアップ

本商品のデータをパソコンなどにバックアップしたり、パソコンなどのデータを本商品にバックアップしたりできます。データバックアップについて詳しくは、P.101 「2.10 データをバックアップする」をご覧ください。



### ①バックアップタスク

登録されているバックアップタスクを表示します。

### ② [バックアップ実行]

①でバックアップタスクを選択してクリックすると、今すぐバックアップを実行します。

## ③ 【停止】

①で実行中のバックアップを選択してクリックすると、バックアップを停止します。


## ④ 【ステータス】

クリックすると、タスクステータス画面を表示します。バックアップタスクの状態を表示できます。

 P.55 「■ タスクステータス」


## ⑤ 【タスクの追加】

クリックすると、バックアップタスク画面を表示します。新規バックアップタスクを作成できます。

 P.56 「■ バックアップタスク」

## ⑥ 【修正】

①でバックアップタスクを選択してクリックすると、バックアップタスク画面を表示して、設定内容を変更できます。

 P.56 「■ バックアップタスク」

## ⑦ 【削除】

①でバックアップタスクを選択してクリックすると、バックアップタスクを削除します。

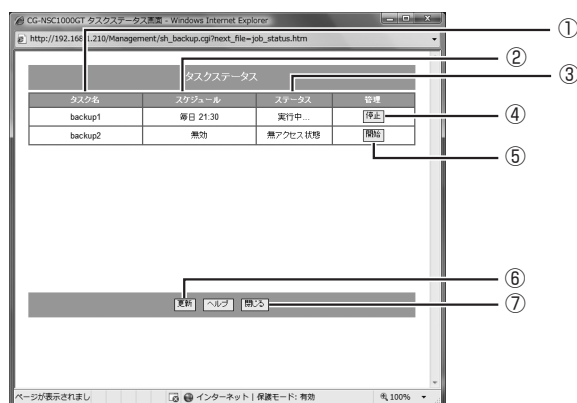


注意

【削除】をクリックすると、すぐに削除されます。確認画面は表示されませんのでご注意ください。

## ■タスクステータス

バックアップタスクを一覧表示します。バックアップタスクの状態を確認したり、今すぐに実行したりできます。



## ①タスク名

バックアップタスク名を表示します。

## ②スケジュール

設定されているスケジュールを表示します。

## ③ステータス

バックアップタスクの状態を表示します。

## ④【停止】

バックアップが実行中のときにクリックすると、バックアップを停止します。

## ⑤【開始】


バックアップが停止中のとき、またはスケジュールが無効になっているときにクリックすると、バックアップを実行します。

## ⑥【更新】

最新の情報に更新します。

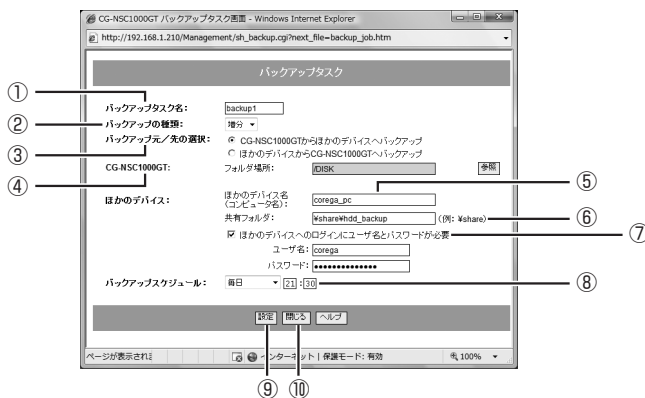
## ⑦【閉じる】

タスクステータス画面を閉じ、バックアップ画面に戻ります。

 P.53 「1.12 バックアップ」

## ■バックアップタスク

バックアップタスクを作成できます。



### ①バックアップタスク名

バックアップタスク名を入力します。半角英数字および記号で、12文字以内で入力してください。ただし、次の記号は入力できません。

"/ ¥ [ ] ; = , + \* ? ` ~ ! @ # \$ % ^ & ( ) { } ' < >

### ②バックアップの種類

バックアップの種類を選択します。

「完全」を選択すると、毎回バックアップ元のすべてファイルをバックアップします。

「増分」を選択すると、前回バックアップを実行したあと、追加または修正されたファイルのみバックアップします。

「同期」を選択すると、バックアップ元フォルダとバックアップ先フォルダを同じ状態にします。例えば、バックアップ元で削除されたファイルがあれば、バックアップ先からも削除します。

### ③バックアップ元／先の選択

「CG-NSC1000GT からほかのデバイスへバックアップ」を選択すると、バックアップ元が本商品で、バックアップ先がネットワーク上のパソコンなどになります。

「ほかのデバイスから CG-NSC1000GT へバックアップ」を選択すると、バックアップ元がネットワーク上のパソコンなどで、バックアップ先が本商品になります。

### ④ CG-NSC1000GT

バックアップ先またはバックアップ元になる、本商品のフォルダを指定します。[参照] をクリックして、フォルダを選択してください。

フォルダの区切りは「/」で表示します。例えば、最上位のフォルダが「ADMIN」で、サブフォルダが「backup」の場合、次のように表示します。

/ADMIN/backup/

### ⑤ほかのデバイス名（コンピュータ名）

バックアップ先またはバックアップ元の、コンピュータ名を入力します。半角英数字および記号で、128文字以内で入力してください。ただし、次の記号は入力できません。

"/ ¥ [ ] ; = , + \* ? ` ~ ! @ # \$ % ^ & ( ) { } ' < >

### ⑥共有フォルダ

バックアップ先またはバックアップ元の、共有フォルダ名を入力します。255文字以内（すべて半角文字の場合）で入力してください。ただし、次の半角記号は入力できません。

": \* ? < > | `

フォルダの区切りは「¥」（半角）を入力します。例えば、最上位のフォルダが「共有」で、サブフォルダが「backup」の場合、次のように入力します。

¥共有 ¥backup

### ⑦ほかのデバイスへのログインにユーザ名とパスワードが必要

ほかのデバイスの共有フォルダにアクセスする場合に、ログイン名とパスワードを入力する必要があるときにチェックを付けて、ユーザ名とパスワードを入力します。

### ⑧バックアップスケジュール

バックアップをスケジュール設定できます。「毎日」、または「毎週月曜日」～「毎週日曜日」のいずれかを選択し、時刻を入力します（24時間表示）。

「無効」を選択すると、バックアップ画面で [バックアップ実行] をクリックしたとき、またはタスクステータス画面で [開始] をクリックしたときだけ、バックアップを実行します。


---

⑨ **【設定】**

①～⑧で設定した内容を保存します。

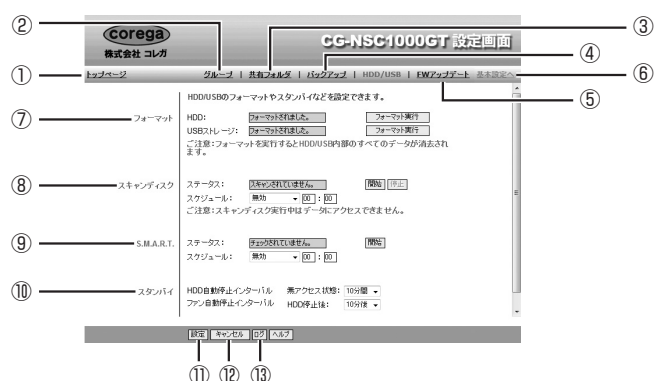
⑩ **【閉じる】**

バックアップ画面に戻ります。

 **P.53** 「1.12 バックアップ」

## 1.13 HDD/USB

ハードディスクをフォーマットするなど、ハードディスクの設定ができます。



### ① トップページ

トップページに戻ります。

P.10 「1.1 トップページ」

### ② グループ

グループ画面を表示します。

P.45 「1.10 グループ」

### ③ 共有フォルダ

共有フォルダ画面を表示します。

P.49 「1.11 共有フォルダ」

### ④ バックアップ

バックアップ画面を表示します。

P.53 「1.12 バックアップ」

### ⑤ FW アップデート

FW アップデート画面を表示します。

P.64 「1.14 FW アップデート」

### ⑥ 基本設定へ

基本設定のユーザ画面を表示します。

P.21 「1.5 ユーザ」


### ⑦ フォーマット

ハードディスクおよび USB ストレージをフォーマットできます。

P.60 「1.13.1 フォーマット」


## ⑧ スキャンディスク

ハードディスクのエラーをチェックします。

 P.62 「1.13.2 スキャンディスク」


## ⑨ S.M.A.R.T.

ハードディスクの S.M.A.R.T. (Self-Monitoring Analysis and Reporting Technology) で診断します。

 P.63 「1.13.3 S.M.A.R.T.」

## ⑩ スタンバイ

ハードディスクおよびファンが停止するまでの時間を設定します。

 P.63 「1.13.4 スタンバイ」

## ⑪ 【設定】

設定を有効にします。

## ⑫ 【キャンセル】

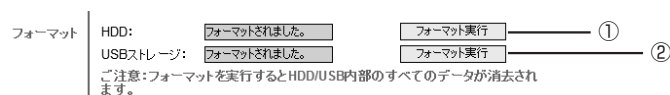
【設定】 をクリックする前の状態に戻します。

## ⑬ 【ログ】

ハードディスクのフォーマット、スキャンディスクの実行結果などのログを表示します。

## 1.13.1 フォーマット

ハードディスクおよび USB ストレージをフォーマットできます。



## ① 【フォーマット実行】 (HDD)

HDD をフォーマットします。クリックすると、確認画面が表示されますので、[OK] をクリックしてフォーマットを実行します。

## ② 【フォーマット実行】 (USB ストレージ)

USB ストレージをフォーマットします。USB ストレージが取り付けられていないときは、実行できません。クリックすると、USB フォーマット画面が表示されます。

 P.61 「■ USB フォーマット」

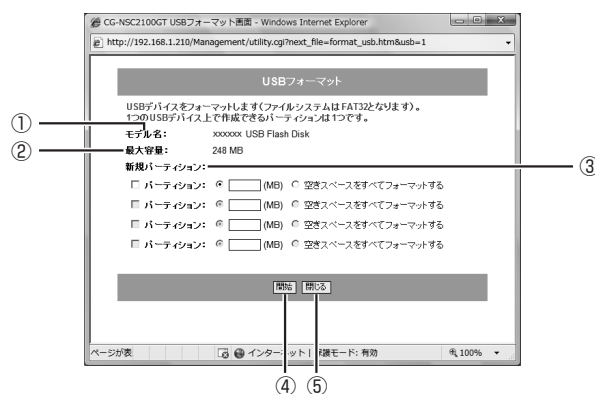


## ■ USB フォーマット

USB ストレージをフォーマットします。



- ・フォーマットを実行すると、すべてのデータが消去されます。フォーマットを実行する前に、あらかじめデータをバックアップしておいてください。
- ・容量を指定してフォーマットすると、USB ストレージの最大容量が指定したサイズに制限され、本来の USB ストレージの最大容量まで使用できなくなります。そのため、通常は「空きスペースをすべてフォーマットする」を選択してフォーマットしてください。



### ①モデル名

USB ストレージのモデル名を表示します。

### ②最大容量

USB ストレージの最大容量を表示します。

### ③新規パーティション

一番上のパーティションにチェックを付けます（それ以外はチェックできません）。

最大容量を制限する場合は、空欄に数値を入力します（MB 単位）。

最大容量すべてを使用する場合は、「空きスペースをすべてフォーマットする」を選択します。

### ④【開始】

フォーマットを実行します。

### ⑤【閉じる】

HDD/USB 画面に戻ります。

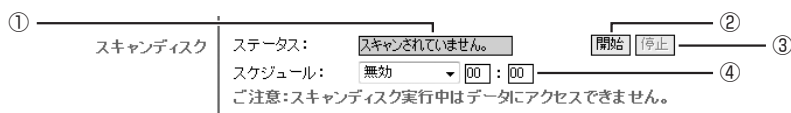
P.59 「1.13 HDD/USB」

## 1.13.2 スキャンディスク

ハードディスクのエラーをチェックします。



- ・スキャンディスクは、ハードディスクにアクセスしていないときに実行してください。ほかのユーザがハードディスクにアクセスしていたり、バックアップを実行していたりすると、データが破損するおそれがあります。
- ・スキャンディスク実行中はハードディスクにアクセスできなくなります。
- ・スキャンディスクで問題が見つかった場合は、データのバックアップを取り、ハードディスクを交換することをお勧めします。



### ①ステータス

スキャンディスクの実行状態、実行結果を表示します。

### ②【開始】

スキャンディスクを実行します。クリックすると、確認画面が表示されますので、[OK]をクリックして実行します。

### ③【停止】

実行中のスキャンディスクを停止します。

### ④スケジュール

スキャンディスクをスケジュール設定できます。「毎日」、または「毎週月曜日」～「毎週日曜日」のいずれかを選択し、時刻を入力します（24 時間表示）。

### 1.13.3 S.M.A.R.T.

ハードディスクの S.M.A.R.T. で診断します。



S.M.A.R.T. で問題が見つかった場合は、データのバックアップを取り、ハードディスクを交換することをお勧めします。

S.M.A.R.T.	ステータス:	チェックされていません	開始
	スケジュール:	無効	00 : 00

#### ①ステータス

S.M.A.R.T. の実行状態、実行結果を表示します。

#### ② [開始]

S.M.A.R.T. を開始します。スケジュールの下に進行状況を示すバーが表示されます。

#### ③スケジュール

S.M.A.R.T. をスケジュール設定できます。「毎日」、または「毎週月曜日」～「毎週日曜日」のいずれかを選択し、時刻を入力します（24 時間表示）。

### 1.13.4 スタンバイ

ハードディスクおよびファンが停止するまでの時間を設定します。

スタンバイ	HDD自動停止インターバル	無アクセス状態:	10分間
	ファン自動停止インターバル	HDD停止後:	10分後

#### ① HDD 自動停止インターバル

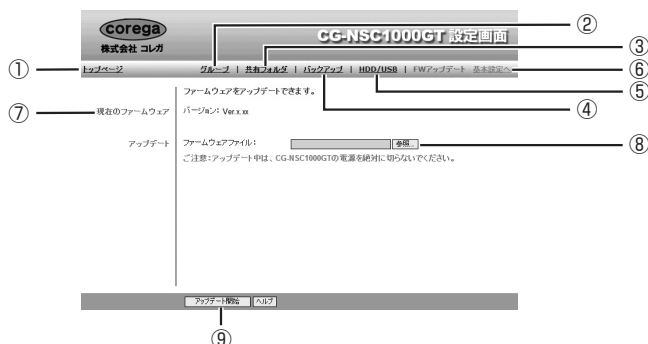
設定した時間ハードディスクへのアクセスがなかったときに、ハードディスクの回転を自動的に止めます。「10 分間」（初期値）、「20 分間」、「40 分間」、「無効」のいずれかを選択します。

#### ② ファン自動停止インターバル

ハードディスクの回転が止まったあと、設定した時間が経過したら冷却ファンの回転を止めます。「10 分後」（初期値）、「20 分後」、「40 分後」、「無効」のいずれかを選択します。

## 1.14 FW アップデート

本商品のファームウェア更新できます。ファームウェアの更新について詳しくは、P.116 「3.3 最新のファームウェアにアップデートする」をご覧ください。



### ① トップページ

トップページに戻ります。

🔗 P.10 「1.1 トップページ」

### ② グループ

グループ画面を表示します。

🔗 P.45 「1.10 グループ」

### ③ 共有フォルダ

共有フォルダ画面を表示します。

🔗 P.49 「1.11 共有フォルダ」

### ④ バックアップ

バックアップ画面を表示します。

🔗 P.53 「1.12 バックアップ」

### ⑤ HDD/USB

FW アップデート画面を表示します。

🔗 P.59 「1.13 HDD/USB」

### ⑥ 基本設定へ

基本設定のユーザ画面を表示します。

🔗 P.21 「1.5 ユーザ」

---

**⑦現在のファームウェア**

現在のファームウェアのバージョンを表示します。

**⑧ファームウェアファイル**

ファームウェアファイルの保存場所を指定します。

**⑨ [アップデート開始]**

ファームウェアを更新します。



# 第2章

## こんなときにはこの設定（機能編）

本章では、本商品を活用するための機能について説明します。

2.1 ユーザを追加する .....	68
2.2 グループを追加する .....	70
2.3 共有フォルダを追加する .....	72
2.4 インターネット経由で共有ファイルを表示する .....	76
2.5 プリントサーバ機能を使う .....	80
2.6 iTunes の音楽ファイルを共有する .....	89
2.7 MP3 を共有する .....	92
2.8 DLNA で共有する.....	95
2.9 USB ストレージのデータをコピーする .....	98
2.10 データをバックアップする .....	101
2.11 ごみ箱機能を使う .....	107
2.12 自動リブート（再起動）機能、自動シャットダウン機能を使う .....	108

## 2.1 ユーザを追加する

ユーザを追加する手順を説明します。

工場出荷時には次のユーザが登録されています。

ユーザ名	所属グループ
admin	everyone administrators
guest	everyone

### ■ユーザを追加する

#### 1 ユーザ画面の新規ユーザで、[クリア] をクリックします。

または、ユーザリストで「リストの終わり」をクリックします。

#### 2 次のとおり設定します。

新規ユーザ

ユーザ名:	<input type="text" value="corega_user"/>	①
コメント:	<input type="text" value="sample user"/>	②
パスワード:	<input type="password" value="●●●●"/>	
パスワードの確認:	<input type="password" value="●●●●"/>	③

ユーザ別共有フォルダを作成する  
 HDD使用量制限  MB

##### ①ユーザ名

ユーザ名を半角英数字および記号で、16文字以内で入力します。ただし、次の記号は入力できません。

" / ¥ [ ] : ; ! = . , + \* ? < > ' `

##### ②コメント

ユーザの説明を入力します（必須ではありません）。

コメントは、半角英数字および記号で、16文字以内で入力してください。ただし、次の記号は入力できません。

! ¥ : " , ' `

##### ③パスワード、パスワードの確認

パスワードを入力します。

パスワードは、半角英数字および記号で、16文字以内で入力してください。空白にすると、パスワードなしになります。



ユーザ画面について詳しくは、P.21 「1.5 ユーザ」をご覧ください。



### 3 [新規ユーザ登録] をクリックします。

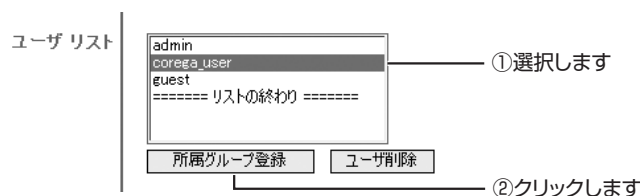
ユーザリストにユーザが追加されます。

#### ■ユーザが所属するグループを登録する

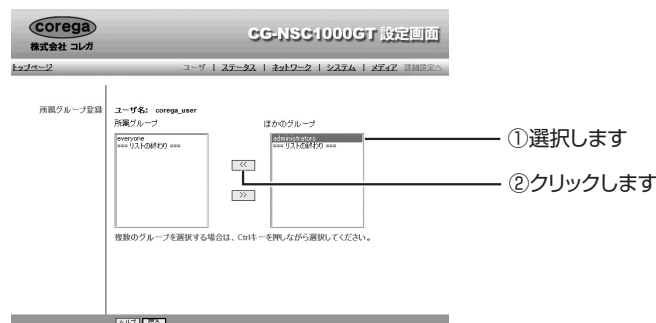
作成した「corega\_user」というユーザを、administrators グループに登録する手順を例に説明します。

administrators グループは、すべての共有フォルダにアクセスする権限があります。グループについて詳しくは、P.70 「2.2 グループを追加する」をご覧ください。

### 1 ユーザを選択し、[所属グループ登録] をクリックします。



### 2 ほかのグループで administrators を選択し、[<<] をクリックします。



### 3 [戻る] をクリックします。

以上で、ユーザの作成とグループへの登録は完了です。

## 2.2 グループを追加する

グループを追加する手順を説明します。

工場出荷時には次のグループが登録されています。

グループ名	アクセスできる共有フォルダ
administrators	admin (読み出し、書き込み可) disk (読み出し、書き込み可)
everyone	disk (読み出し、書き込み可)

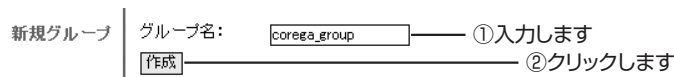
### ■グループを追加する

**1** 詳細設定—グループ画面を開きます。

**2** グループ名を入力して、[作成] をクリックします。

半角英数字および記号で、16文字以内で入力してください。ただし、次の記号は入力できません。

"/ ¥ [ ] : ; ! = . , + \* ? < > ' ` \$ % @



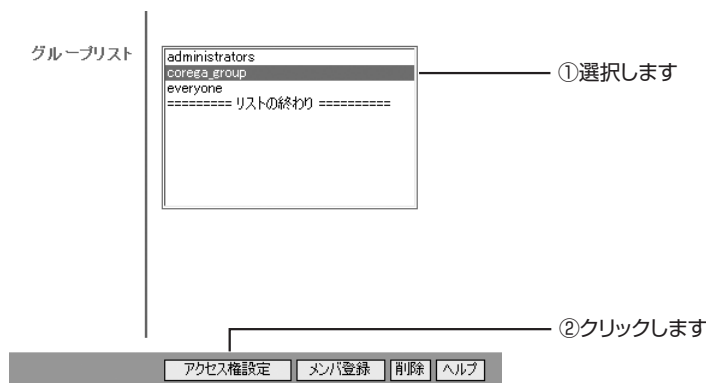
**3** グループリストにグループが追加されます。

### ■グループアクセス権を設定する

作成した「corega\_group」というグループに、DISK フォルダへのアクセス権を設定する手順を例に説明します。

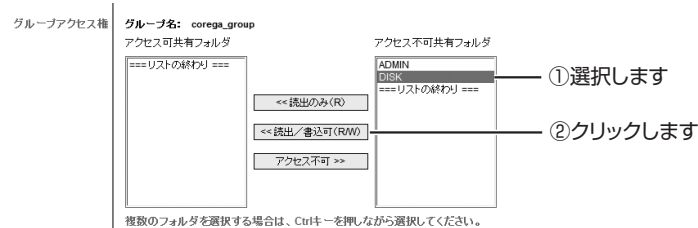
共有フォルダについては詳しくは、P.72 「2.3 共有フォルダを追加する」をご覧ください。

**1** グループを選択し、[アクセス権設定] をクリックします。



## 2 アクセス不可共有フォルダで DISK を選択し、[<<読出／書込可 (R/W)] をクリックします。

[読出のみ (R)] をクリックすると、読み出し権限のみになり、書き込みや削除はできません。



## 3 [戻る] をクリックします。

以上で、グループの作成とアクセス権の設定は完了です。

## 2.3 共有フォルダを追加する

共有フォルダを追加する手順を説明します。

ハードディスクをフォーマットしたあとは、次の共有フォルダが作成されます。

共有フォルダ名	アクセスできるグループ
ADMIN	administrators（読み出し、書き込み可）
DISK	administrators（読み出し、書き込み可） everyone（読み出し、書き込み可）

### ■共有フォルダを追加する

- 1 詳細設定－共有フォルダ画面を開きます。
- 2 新規共有フォルダで、[クリア] をクリックします。  
または、共有フォルダリストで「リストの終わり」をクリックします。
- 3 次のとおり設定します。

#### ①共有フォルダ名

共有フォルダ名を 255 文字以内（すべて半角文字の場合）で入力してください。ただし、次の半角記号は入力できません。

"/ ¥ [ ] : ; ! = . , + \* ? < > ' ` \$ % @

#### ②コメント

共有フォルダの説明を入力します（必須ではありません）。半角英数字および記号で、48 文字以内で入力してください。ただし、次の記号は入力できません。

" ¥ : ; ! ' "

#### ③場所

フォルダの場所を設定します。「デフォルト」を選択すると、admin フォルダの直下に①と同じ名前のフォルダを作成します。

「場所を指定」を選択して「参照」をクリックすると、フォルダを作成したり、すでに作成されているフォルダを選択したりできます。詳しくは、P.73 「■ 新規共有フォルダの場所を指定するには」をご覧ください。

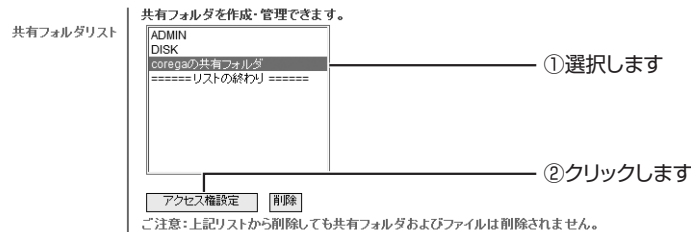
### 4 [新規共有フォルダを作成] をクリックします。

以上で、共有フォルダの作成は完了です。

## ■共有フォルダのアクセス権を設定する

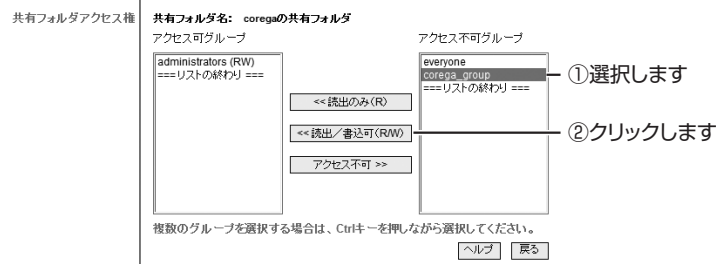
追加した共有フォルダに、アクセスできるグループを設定します。ここでは、追加した「coregaの共有フォルダ」というフォルダに対して、corega\_group グループが読み出し、書き込みできるようにする手順を例に説明します。

### 1 共有フォルダを選択し、[アクセス権設定] をクリックします。



### 2 アクセス不可グループでグループを選択し、[<<読出/書込可 (R/W)] をクリックします。

[読出のみ (R)] をクリックすると、読み出し権限のみになり、書き込みや削除はできません。



### 3 [戻る] をクリックします。

以上で、アクセス権の設定は完了です。

## ■新規共有フォルダの場所を指定するには

共有フォルダを作成するときに、新規フォルダをあらかじめハードディスクに作成して、そのフォルダを共有フォルダに設定できます。

ここでは、ハードディスクの admin フォルダ直下に「写真用共有フォルダ」という名前のフォルダを作成し、そのフォルダを「photo」という共有フォルダ名で管理する場合を例に説明します。

### 1 共有フォルダ名に「photo」と入力します。

## 2 「場所を指定」を選択し、[参照] をクリックします。

新規共有フォルダ

共有フォルダ名: photo

コメント:

場所:  デフォルト  場所を指定 [参照]

① 選択します

② クリックします

ご注意: 共有フォルダ作成後に場所の変更はできません。

新規共有フォルダを作成 クリア

## 3 「ADMIN」 をクリックします。

フォルダ閲覧

現在のフォルダ: /

新しいフォルダ: フォルダ作成

↑ (上位のフォルダ)

ADMIN

クリックします

## 4 新しいフォルダに「写真用共有フォルダ」と入力し、[フォルダ作成] をクリックします。

フォルダ名は 255 文字以内（すべて半角文字の場合）で指定する必要があります。ただし、次の半角記号は使用できません。

" ¥ : \* ? < > ! ' `

なお、フォルダの区切りは「/」で表示します。そのため、「/」を入力すると、「/」以降がサブフォルダの名前になります。

フォルダ閲覧

現在のフォルダ: ADMIN

新しいフォルダ: 写真用共有フォルダ フォルダ作成

① 入力します

② クリックします

↑ (上位のフォルダ)

coregaの共有フォルダ

public

## 5 「写真用共有フォルダ」をクリックし、[設定] をクリックします。

フォルダ閲覧

現在のフォルダ: ADMIN

新しいフォルダ:

↑ (上位のフォルダ)

coregaの共有フォルダ

public

写真用共有フォルダ

① クリックします

② クリックします

設定 閉じる

## 6 「新規共有フォルダを作成」をクリックします。

新規共有フォルダ

共有フォルダ名:

コメント:

場所:  デフォルト  
 場所を指定

ご注意:共有フォルダ作成後に場所の変更はできません。

クリックします

以上で、共有フォルダの作成は完了です。

2

## 2.4 インターネット経由で共有ファイルを表示する

本商品をルータに接続し、インターネット経由で共有ファイルを表示する手順を説明します。



- ・ インターネット経由で共有ファイルを表示するには、お使いのルータがUPnP (ユニバーサルプラグアンドプレイ) またはポート開放機能に対応している必要があります。
- ・ ポート開放機能は、弊社製ルータでは「バーチャルサーバ (ポート開放)」と呼びます。ほかのメーカーでは「ポートフォワーディング」、「静的 IP マスカレード」、「ポートマッピング」などと呼ぶ場合があります。詳細については、お使いのルータの取扱説明書をご覧ください。
- ・ ルータ経由で接続している場合でも、Unnumbered サービスなどでルータに接続した機器にグローバル IP アドレスが直接割り当てられる場合は、ポートを開放する必要はありません。

### 2.4.1 本商品を設定する

次の手順で、UPnP とポート番号を設定します。

- 1 システム画面を開き、画面を下にスクロールさせ、オプションを表示します。
- 2 「UPnP 有効」にチェックが付いていること、「Web ブラウザ コネクションポート番号」が「80」になっていることを確認します。

オプション

- ゲスト (guest) ユーザ ログイン有効
- AFP有効
- FTPサーバ有効
- コントロールポート:  (21,1024-65535)
- データポート:  (20,1024-65535)
- anonymous有効 ("guest" 権限)
- UPnP 有効
- ごみ箱機能有効
- ごみ箱を空にするスケジュール: [無効] [00]: [00]
- 
- Webブラウザ コネクションポート番号:  確認します



- ・ Web ブラウザ コネクションポート番号を変更した場合、Web ブラウザの設定でポート番号を入力する必要があります。

P.78 「2.4.3 Web ブラウザで共有フォルダを表示する」

- 3 設定を変更した場合は、「設定」をクリックします。



## 2.4.2 ルータを設定する

ここでは、弊社製ルータを使って設定する流れを説明します。



UPnP やバーチャルサーバ（ポート開放）を使用して本商品に接続するとき、Web ブラウザでグローバル IP アドレスを入力する必要があります。ルータに割り当てられるグローバル IP アドレスは変更される可能性があるため、IP アドレスを調べないと接続できません。弊社製ルータの「ダイナミック DNS（DDNS）」機能を使用すると、IP アドレスではなくダイナミック DNS 名で本商品に接続できるようになります。詳しくは、お使いのルータの取扱説明書をご覧ください。

### ■ UPnP を使用する

ルータの設定画面で、UPnP を使用するよう設定します。

・UPnP 設定画面の例



※画面は CG-BARFX3VQ の例です。

## ■バーチャルサーバ（ポート開放）を使用する

ルータの設定画面で、バーチャルサーバ（ポート開放）を使用するように設定します。次の設定項目は、弊社製ルータの例です。

設定項目	設定内容
接続先	本商品の IP アドレス (初期値：192.168.1.210) → P.27 「1.6.1 システム」④ IP アドレス
サービス	HTTP またはユーザ定義
ポート範囲	本商品のポート番号 (初期値：80) ☞ P.76 「2.4.1 本商品を設定する」手順 2
プロトコル	TCP
MAC アドレス※1	本商品の MAC アドレス ☞ P.27 「1.6.1 システム」③ MAC アドレス

※1 弊社製ルータでは、「PC データベース」に登録するときに必要です。

・バーチャルサーバ（ポート開放）設定画面の例



※画面は CG-BARFX3VQ の例です。

### 2.4.3 Web ブラウザで共有フォルダを表示する

Web ブラウザで表示する手順を説明します。

- 1 Web ブラウザを起動します。
- 2 本商品の IP アドレスまたはドメイン名を入力します。

・グローバル IP アドレスを入力する場合

例 1：ルータにグローバル IP アドレス「12.34.56.78」が割り当てられていて、本商品のポート番号が「80」の場合

**http://12.34.56.78/**

例 2：ルータにグローバル IP アドレス「12.34.56.78」が割り当てられていて、  
本商品のポート番号が「8008」の場合

**http://12.34.56.78:8008**

#### ・ダイナミック DNS のドメイン名で接続する場合

例 1：ドメイン名を「nas.server.cc」で登録し、本商品のポート番号が「80」の場合

**http://nas.server.cc/**

例 2：ドメイン名を「nas.server.cc」で登録し、本商品のポート番号が「8008」  
の場合

**http:// nas.server.cc:8008**

### 3 本商品にログインします。



※画面は例です。表示する共有フォルダにアクセス権限のあるユーザ名とパスワードを入力してください。

### 4 共有フォルダが表示されます。

共有フォルダの操作については、次の項目をご覧ください。

P.13 「1.2 ユーザ別フォルダ」

P.17 「1.3 パブリックデータ」

以上で、インターネット経由で共有ファイルを表示できるようになりました。

## 2.5 プリントサーバ機能を使う

プリントサーバを使用する手順を説明します。

最初に、お使いのパソコンでプリンタが使用できることを確認し、そのあとで OS ごとにプリントサーバを設定します。



- ・プリントサーバ機能は Macintosh では使用できません。
- ・プリンタまたは USB ストレージのどちらかを接続できます。また、プリンタは 1 台のみ接続できます。

### 2.5.1 プリンタが使用できることを確認する

- 1 お使いのパソコンとプリンタとを直接接続して、プリンタドライバをインストールします。



プリンタの接続方法、プリンタドライバのインストール方法は、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

- 2 プリンタで印刷できることを確認します。
- 3 パソコン側のUSBケーブルを取り外し、本商品背面のUSBポートに接続します。
- 4 本商品の設定画面を開き、ステータス画面を表示して、プリンタが「オンライン」になっていることを確認します。



このあとは、お使いの OS によって手順が異なります。

- ・ Windows Vista をお使いの場合

**P.81** 「2.5.2 Windows Vista でプリントサーバを設定する」

- ・ Windows XP をお使いの場合

**P.83** 「2.5.3 Windows XP でプリントサーバを設定する」

- ・ Windows 2000 をお使いの場合

**P.86** 「2.5.4 Windows 2000 でプリントサーバを設定する」

## 2.5.2 Windows Vista でプリントサーバを設定する

- 1 [スタート] をクリックし、検索ボックスに「¥¥192.168.1.220」と入力して、Enter キーを押します。

本商品の IP アドレスを変更している場合は、変更後の IP アドレスを入力してください。



- 2 ユーザー名に「admin」と入力して、[OK] をクリックします。

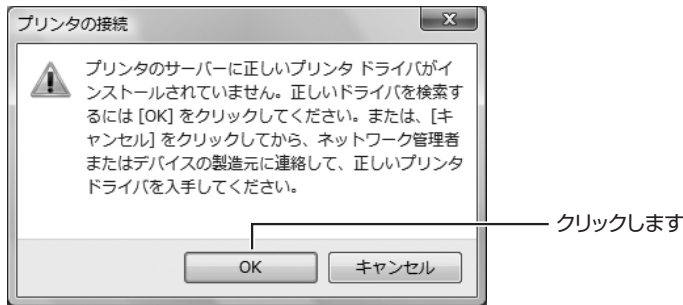
本商品の管理者ユーザ名の工場出荷時設定は「admin」、パスワードは空白です（設定されていません）。パスワードを変更している場合は、変更後のパスワードを入力してください。



- 3 「CG-NSC\_xxxxxx」(x部は本商品のMACアドレスの下6桁)をダブルクリックします。



#### 4 [OK] をクリックします。

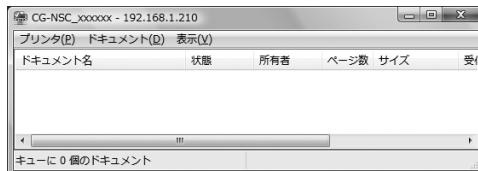


#### 5 プリンタのモデル名を選択し、[OK] をクリックします。



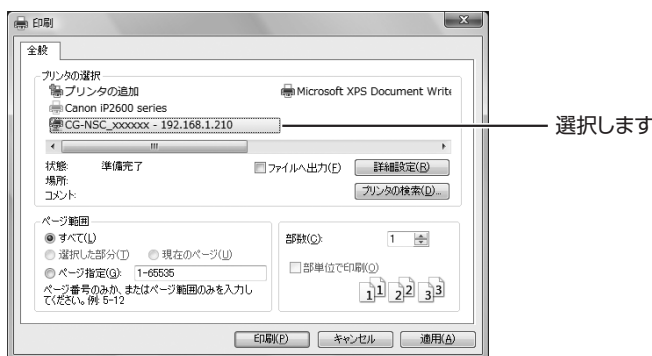
※画面は例です。

#### 6 プリンタフォルダが表示されます。



### ■ Windows Vista のアプリケーションでプリンタを選択する

アプリケーションでプリンタを選択するときは、「CG-NSCxxxxxx - 192.168.1.210」を選択します（x 部は本商品の MAC アドレスの下 6 桁、IP アドレスは初期値の場合）。



※画面はワードパッドの例です。

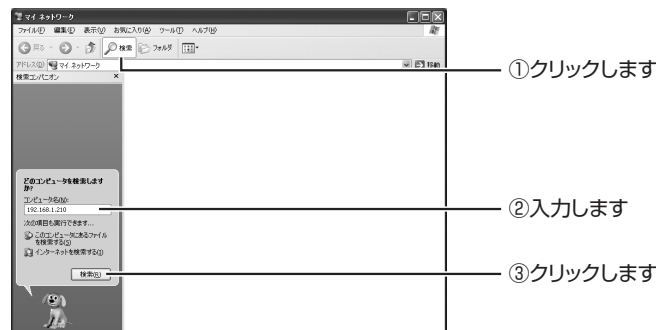
## 2.5.3 Windows XP でプリントサーバを設定する

- 1 [スタート] – 「マイネットワーク」をクリックします。



- 2 上部ツールバーの「検索」をクリックしたあと、左の「コンピュータ名」に「192.168.1.210」と入力して、「検索」をクリックします。

本商品の IP アドレスを変更している場合は、変更後の IP アドレスを入力してください。



- 3 検索された本商品をダブルクリックします。

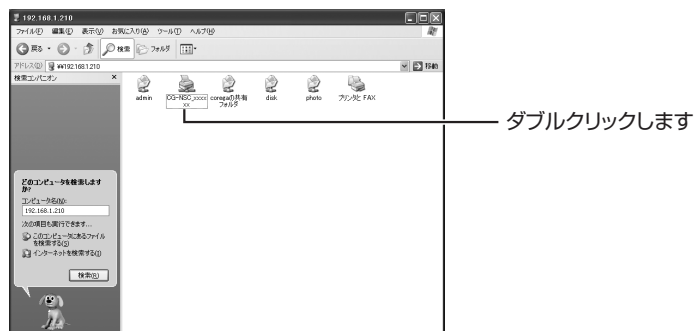


#### 4 ユーザー名に「admin」と入力して、[OK] をクリックします。

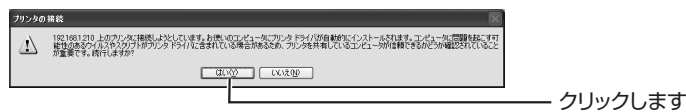
本商品の管理者ユーザ名の工場出荷時設定は「admin」、パスワードは空白です（設定されていません）。パスワードを変更している場合は、変更後のパスワードを入力してください。



#### 5 「CG-NSC\_xxxxxx」(x部は本商品のMACアドレスの下6桁)をダブルクリックします。



#### 6 [[はい] をクリックします。

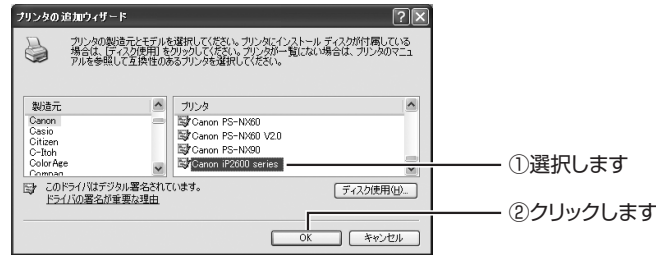


#### 7 [OK] をクリックします。





## 8 プリンタのモデル名を選択し、[OK] をクリックします。



※画面は例です。

## 9 プリンタフォルダが表示されます。



以上で、設定は完了です。

### ■ Windows XP のアプリケーションでプリンタを選択する

アプリケーションでプリンタを選択するときは、「CG-NSCxxxxxx - 192.168.1.210」を選択します（x 部は本商品の MAC アドレスの下 6 桁、IP アドレスは初期値の場合）。

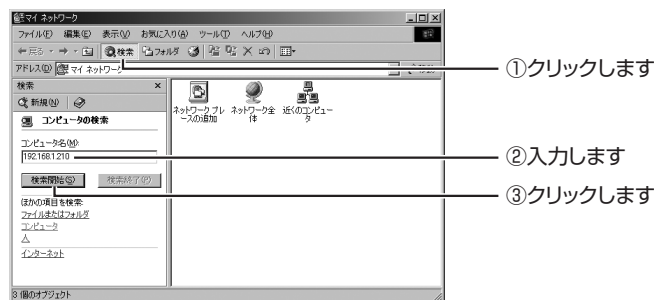


※画面はワードパッドの例です。

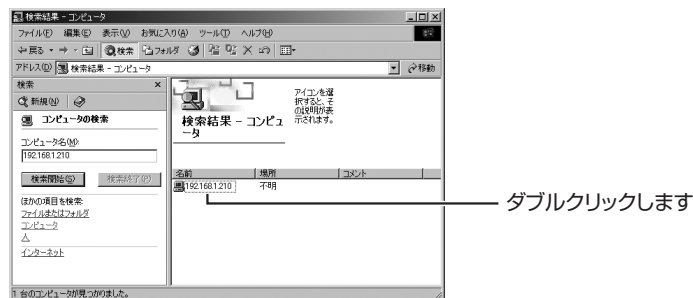
## 2.5.4 Windows 2000 でプリントサーバを設定する

- 1 マイネットワークを開き、上部ツールバーの「検索」をクリックしたあと、左の「コンピュータ名」に「192.168.1.210」と入力して、[ 検索開始 ] をクリックします。

本商品の IP アドレスを変更している場合は、変更後の IP アドレスを入力してください。

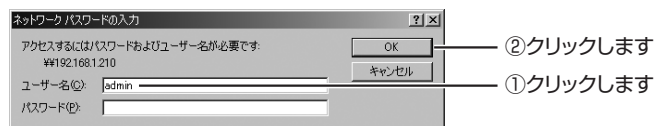


- 2 検索された本商品をダブルクリックします。



- 3 ユーザー名に「admin」と入力して、[OK] をクリックします。

本商品の管理者ユーザ名の工場出荷時設定は「admin」、パスワードは空白です（設定されていません）。パスワードを変更している場合は、変更後のパスワードを入力してください。



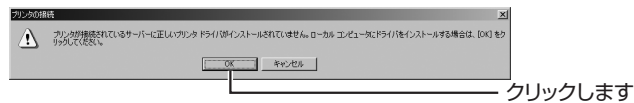
#### 4 「CG-NSC\_xxxxxx」(x部は本商品のMACアドレスの下6桁)をダブルクリックします。



#### 5 [はい] をクリックします。



#### 6 [OK] をクリックします。



#### 7 プリンタのモデル名を選択し、[OK] をクリックします。



※画面は例です。

#### 8 プリンタフォルダが表示されます。



以上で、設定は完了です。

## ■ Windows 2000 のアプリケーションでプリンタを選択する

アプリケーションでプリンタを選択するときは、「CG-NSCxxxxxx - 192.168.1.210」を選択します（x 部は本商品の MAC アドレスの下 6 桁、IP アドレスは初期値の場合）。



※画面はワードパッドの例です。

## 2.6 iTunes の音楽ファイルを共有する

iTunes サーバ機能を使って、iTunes の音楽ファイルをほかのパソコンで再生する手順を説明します。



注意

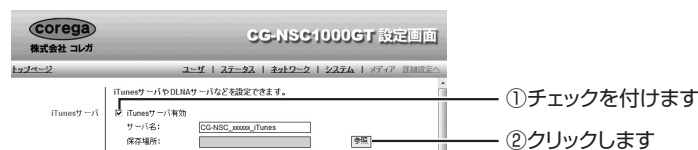
- ・音楽ファイルのコピー操作、および本商品で使用しているときに、万が一音楽ファイルが消失してしまっても、データの保証は一切いたしかねます。大切なデータは必ずバックアップをお取りください。
- ・iTunes Store から購入した音楽ファイルは、一度に最大 5 台のパソコンで認証して再生できます。
- ・iTunes の操作については、弊社サポート対象外となります。

2

### 2.6.1 iTunes サーバ機能を設定する

本商品の設定手順を説明します。

- 1 本商品の設定画面を開き、ステータス画面を表示します。
- 2 「iTunes サーバ有効」にチェックを付け、[参照] をクリックします。

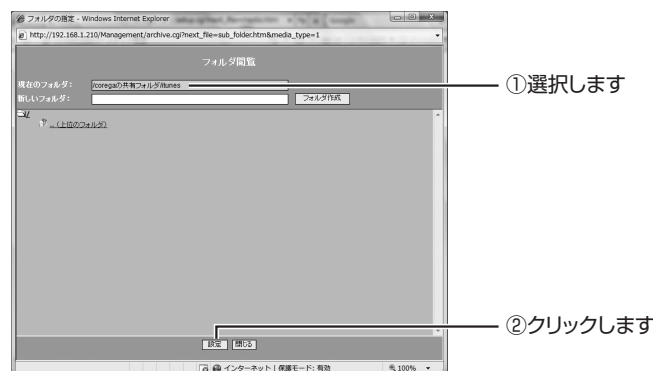


- 3 音楽ファイルを保存するフォルダを選択し、[設定] をクリックします。

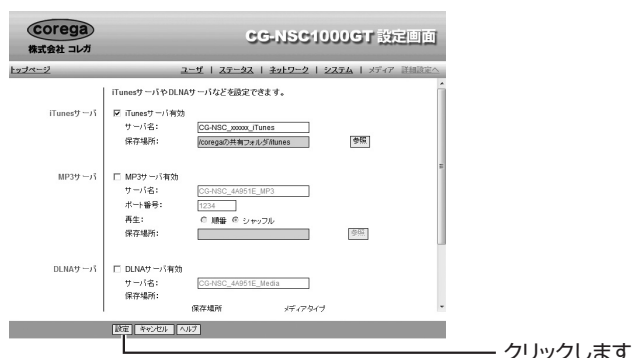
新規にフォルダを作成するには、フォルダ名を入力して、[フォルダ作成] をクリックします。

ここでは、次のフォルダを例に説明します。

¥corega の共有フォルダ ¥itunes



## 4 設定内容を確認し、[設定] をクリックします。



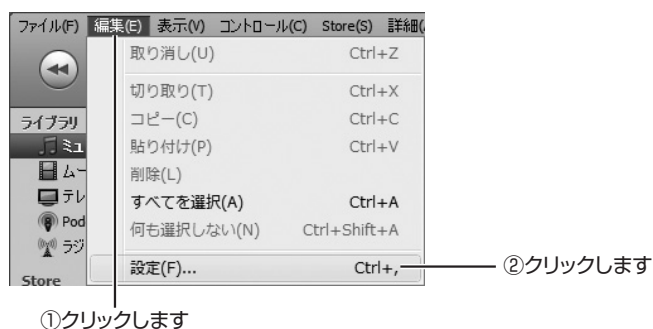
以上で、本商品の設定は完了です。

## 2.6.2 音楽ファイルをコピーする

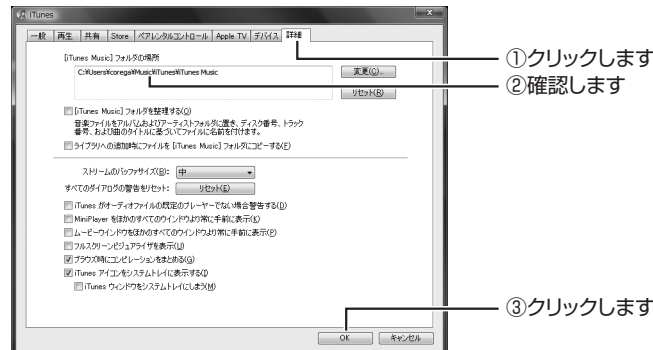
ここでは、iTunes で保存された音楽ファイルを、本商品にコピーする手順を説明します。まず、iTunes の保存先を調べ、そのデータを本商品にコピーします。

ここでは、Windows Vista で iTunes 8 を使用している場合を例に説明します。iTunes について詳しくは、iTunes のヘルプをご覧ください。

### 1 iTunes を起動し、「編集」－「設定」をクリックします。



- 2 「詳細」をクリックし、「iTunes Music」フォルダの場所を確認して、[OK] をクリックします。



- 3 iTunesを終了し、Windowsのエクスプローラなどで「iTunes Music」フォルダごとコピーします。

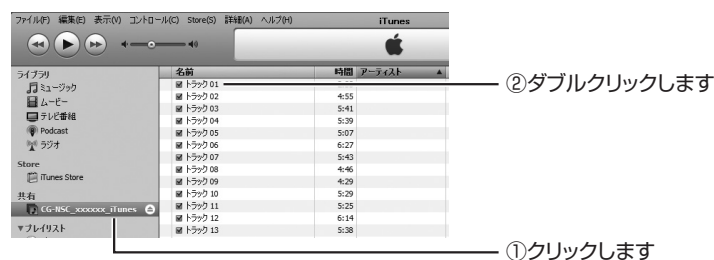
コピー先フォルダは、P.89 「2.6.1 iTunes サーバ機能を設定する」手順2で設定したフォルダです。

以上で、音楽ファイルのコピーが完了しました。

### 2.6.3 音楽ファイルを再生する

ここでは、本商品に保存された音楽ファイルを再生する手順を説明します。

- 1 iTunes を起動します。
- 2 「CG-NSC\_xxxxxx\_iTunes」(x部は本商品のMACアドレスの下6桁)をクリックして、音楽ファイルをダブルクリックします。



以上で、本商品に保存された音楽ファイルが再生できました。  
iTunesの詳しい使い方は、iTunesのヘルプをご覧ください。

## 2.7 MP3 を共有する

MP3 サーバ機能を使って、MP3 形式の音楽ファイルをほかのパソコンで再生する手順を説明します。

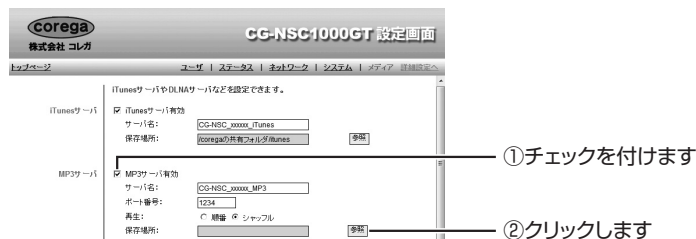


- ・ MP3 ファイルのコピー操作、および本商品で使用しているときに、万が一 MP3 ファイルが消失してしまっても、データの保証は一切いたしかねます。大切なデータは必ずバックアップをお取りください。
- ・ Windows Media Player の操作については、弊社サポート対象外となります。

### 2.7.1 MP3 サーバ機能を設定する

本商品の設定手順を説明します。

- 1 本商品の設定画面を開き、ステータス画面を表示します。
- 2 「MP3 サーバ有効」にチェックを付け、[参照] をクリックします。

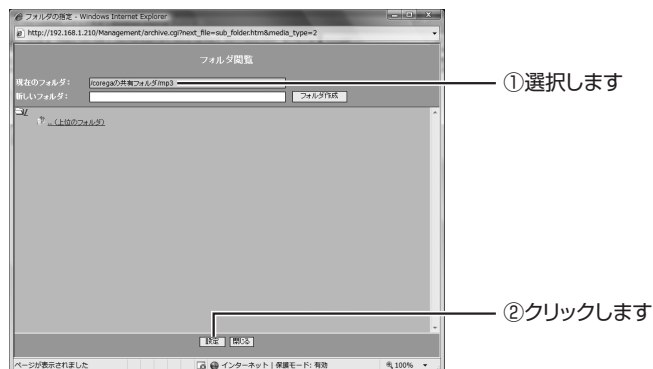


- 3 MP3 ファイルを保存するフォルダを選択し、[設定] をクリックします。

新規にフォルダを作成するには、フォルダ名を入力して、[フォルダ作成] をクリックします。

ここでは、次のフォルダを例に説明します。

¥corega の共有フォルダ ¥mp3





## 4 設定内容を確認し、[設定] をクリックします。



クリックします

以上で、本商品の設定は完了です。

### 2.7.2 MP3 ファイルをコピーして再生する

ここでは、Windows Vista で Windows Media Player バージョン 11 を使用している場合を例に説明します。Windows Media Player について詳しくは、Windows Media Player のヘルプをご覧ください。

- 1 MP3 ファイルを Windows のエクスプローラなどでコピーします。  
コピー先フォルダは、P.92 「2.7.1 MP3 サーバ機能を設定する」手順3 で設定したフォルダです。
- 2 Windows Media Player を起動し、キーボードの Alt キーを押し、「ファイル」 - 「URL を開く」をクリックします。



①クリックします

②クリックします

---

### 3 「http://192.168.1.210:1234」と入力し、[OK] をクリックします。

IP アドレスと 1234の間には、「:」（コロン）を入力してください。

IP アドレスを変更しているときは、変更後の IP アドレスを入力してください。

「1234」はポート番号になります。P.92 「2.7.1 MP3 サーバ機能を設定する」手順 4 で「1234」以外に設定しているときは、変更後のポート番号を入力してください。



### 4 MP3 ファイルの再生が始まります。

以上で、MP3 ファイルの再生ができるようになりました。

## 2.8 DLNA で共有する

DLNA とは、Digital Living Network Alliance の略で、家庭内 LAN を使ってパソコンや AV 機器、情報家電を連携して利用するための技術仕様です。

DLNA サーバ機能を使うことで、本商品に保存した動画・画像・音楽を、DLNA 対応のデジタル家電から再生できるようになります。



- ・ DLNA で共有するためのファイルのコピー操作、および本商品で使用しているときに、万が一ファイルが消失してしまっても、データの保証は一切いたしかねます。大切なデータは必ずバックアップをお取りください。
- ・ DLNA 対応機器の操作については、弊社サポート対象外となります。

2

### 2.8.1 DLNA サーバ機能を設定する

本商品の設定手順を説明します。

- 1 本商品の設定画面を開き、ステータス画面を表示します。
- 2 「DLNA サーバ有効」にチェックを付け、保存場所の一番上のチェックボックスにチェックを付け、[参照] をクリックします。

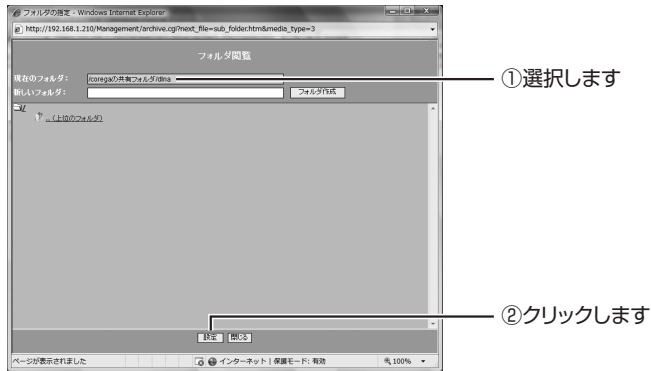


### 3 ファイルを保存するフォルダを選択し、[設定] をクリックします。

新規にフォルダを作成するには、フォルダ名を入力して、[フォルダ作成] をクリックします。

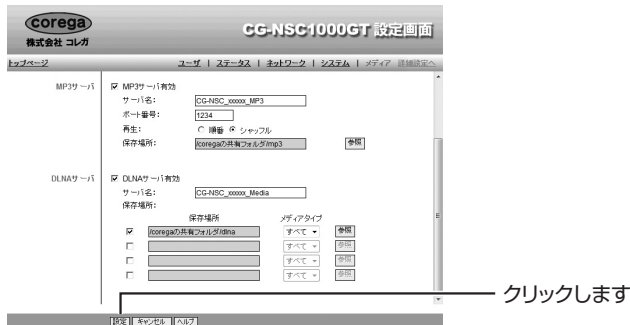
ここでは、次のフォルダを例に説明します。

¥corega の共有フォルダ ¥dlna

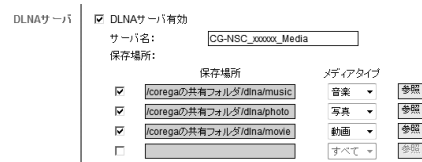


### 4 設定内容を確認し、[設定] をクリックします。

ファイルの種類によって別フォルダで管理する場合は、保存場所とメディアタイプを選択します。チェックを付けた保存場所が有効になります。



#### ・保存場所を分けた場合の例



## 2.8.2 DLNA 機器で再生する

DLNA 対応機器（パソコンやデジタル家電）で再生したいファイルを準備し、DLNA 対応機器でファイルを再生する流れを説明します。



DLNA 対応機器の操作方法、本商品への接続方法、DLNA 対応機器で再生できるファイルの種類は、お使いの機器によって異なります。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

- 1 設定した共有フォルダに、ファイルを保存します。**

P.95 「2.8.1 DLNA サーバ機能を設定する」手順 4 で、ファイルの種類ごとにフォルダを分けている場合は、それぞれのフォルダにファイルを保存します。
- 2 DLNA 対応機器で本商品を表示します。**

本商品の名称（サーバ名）の初期値は、「CG-NSC\_xxxxxx\_Media」（x 部は本商品の MAC アドレスの下 6 桁）です。
- 3 本商品を選択すると、P.95 「2.8.1 DLNA サーバ機能を設定する」手順 4 で設定したフォルダが表示されます。**
- 4 再生したいファイルが保存されているフォルダを表示して、ファイルを再生します。**

以上で、DLNA 対応機器でファイルを再生できるようになりました。

## 2.9 USB ストレージのデータをコピーする

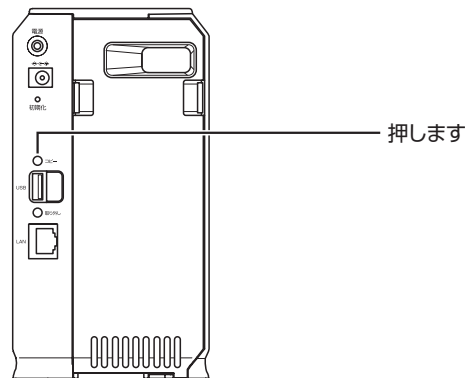
ここでは、USB ストレージのデータを、本商品にコピーする手順を説明します。

### 2.9.1 コピーボタンでデータをコピーする

**1** USB ストレージを本体背面の USB ポートに接続します。

**2** コピーボタンを押します。

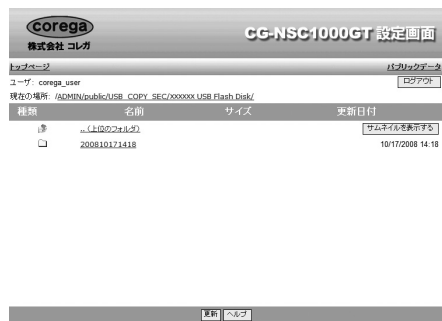
ピッという音がして、データのコピーが始まります。コピー中は Disk LED および USB LED が点滅し、コピーが完了すると点灯します。



**3** 本商品にコピーされたデータを確認します。

次の共有フォルダにコピーされます。

¥ADMIN¥public¥USB\_COPY\_SEC¥ (USB ストレージの型番) ¥ (日時)



※画面は例です。

## 2.9.2 USB ストレージを取り外す

USB ストレージを取り外すには、取り外しボタンを使う方法と、設定画面を使う方法があります。



USB ストレージの取り外しは、必ず次のどちらかの手順に従ってください。  
USB ストレージおよびデータが破損するおそれがあります。

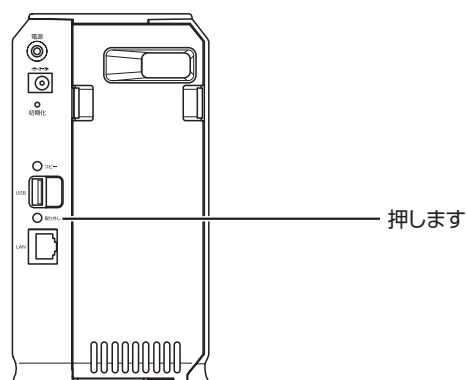
☞ P.99 「■ 取り外しボタンで取り外す」

☞ P.100 「■ 設定画面で取り外す」

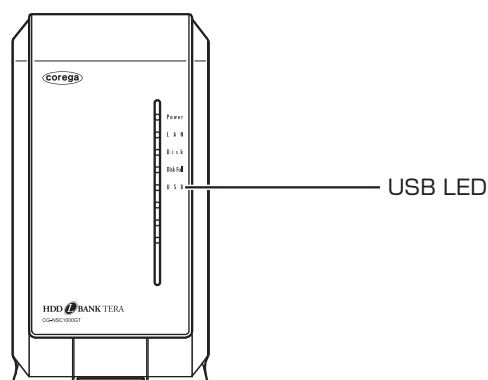
### ■ 取り外しボタンで取り外す

- 1 USB ストレージにアクセスしていないことを確認して、取り外しボタンを押します。

ピッという音がします。

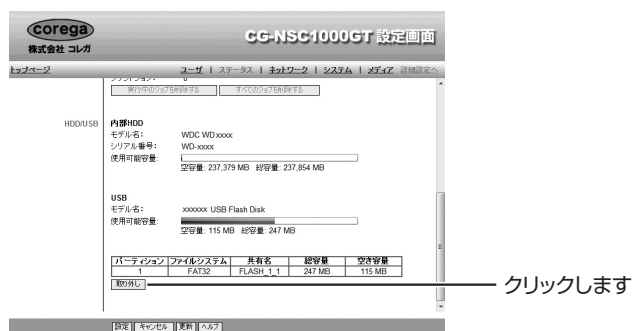


- 2 USB LED が消灯していることを確認して、USB ストレージを取り外します。



## ■ 設定画面で取り外す

- 1 基本設定－ステータス画面を開きます。
- 2 画面を下にスクロールさせ、HDD/USB を表示します。
- 3 [取り外し] をクリックします。  
ピッという音がします。



- 4 「イジェクトしました」と表示されたことを確認して、USB ストレージを取り外します。

または、USB LED が消灯していることを確認して、USB ストレージを取り外してください。



## 2.10 データをバックアップする

バックアップ機能を使って、同じネットワーク上にあるパソコンのデータを本商品に、または本商品のデータをパソコンにバックアップできます。また、完全や増分などバックアップの種類を指定することや、毎日決まった時間にバックアップするといったスケジュールも設定できます。

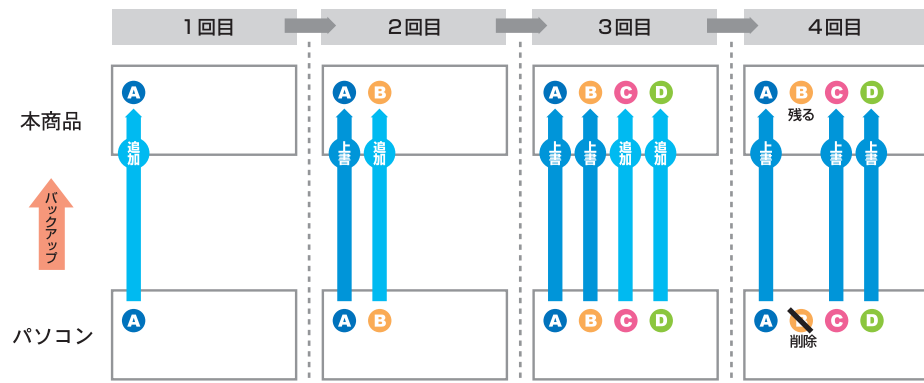
### 2.10.1 バックアップの種類について

完全バックアップ、増分バックアップ、同期バックアップの違いを説明します。イラストは、パソコンから本商品にバックアップする場合を例にしています。

#### ■完全バックアップ

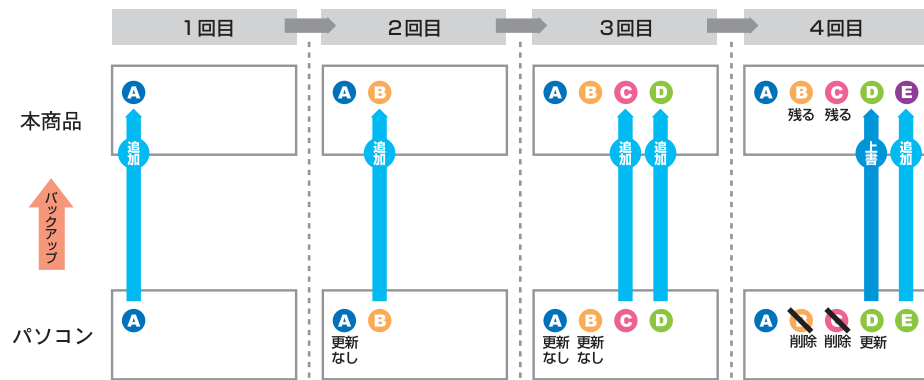
パソコン側のファイルの更新に関係なく、すべてのファイルが本商品に追加または上書き保存されます。パソコン側からデータを削除しても、本商品にはデータが残ったままになります。

ただし、増分バックアップや同期バックアップに比べて、バックアップに必要な時間が長く掛かります。



#### ■増分バックアップ

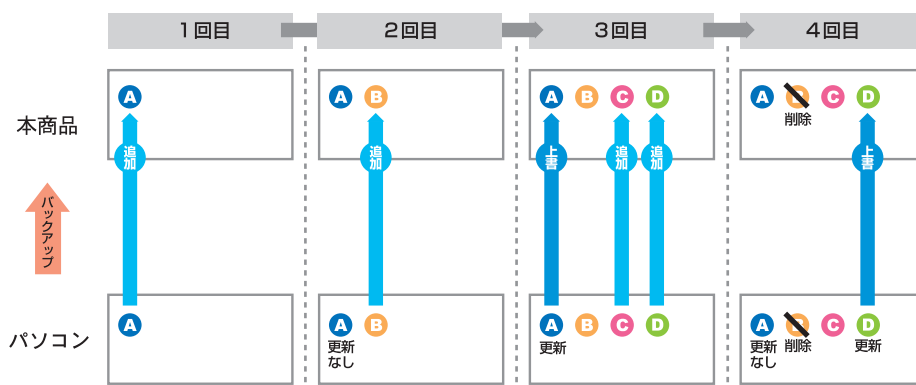
パソコン側で更新したファイルは本商品に上書き保存され、パソコン側で追加したファイルは本商品に追加されます。パソコン側で更新していないファイルは、上書き保存されません。また、パソコン側からデータを削除しても、本商品にはデータが残ったままになります。



## ■同期バックアップ

パソコン側で更新したファイルは上書き保存され、パソコン側で追加したファイルは本商品に追加され、パソコン側で削除したファイルは本商品から削除されます（ただし、フォルダは残ります）。パソコンと本商品とが、同じファイルの状態になるよう保ちます。

完全バックアップや増分バックアップに比べて、バックアップに必要な容量が少なくなります。



## 2.10.2 パソコンのデータを本商品にバックアップする

ここでは、同じネットワーク上にあるパソコンのデータを、本商品にバックアップする手順を例に説明します。

### ■パソコン側で共有フォルダを設定する

バックアップするフォルダごと、共有フォルダに設定します。



共有フォルダの設定について詳しくは、Windows のヘルプをご覧ください。「ファイル共有」「フォルダ共有」「共有フォルダ」などのキーワードで検索して、設定手順をご覧ください。

### ■バックアップタスクを作成する

バックアップタスクを作成します。

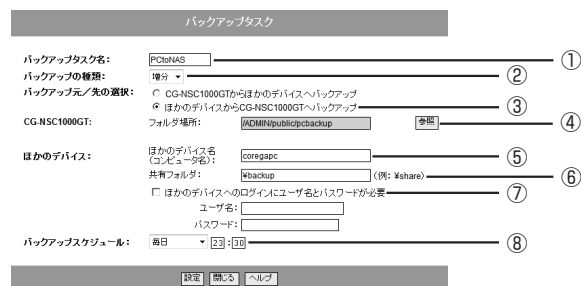
#### 1 詳細設定－バックアップ画面を開きます。

## 2 [タスクの追加] をクリックします。



## 3 次のように設定します。

バックアップタスク画面について詳しくは、P.56 「■ バックアップタスク」をご覧ください。



※画面は例です。

- ①バックアップタスク名を入力します。
- ②「完全」「増分」「同期」のいずれかを選択します。
- ③チェックを付けます。
- ④クリックして、本商品のバックアップ先フォルダを選択します（新規フォルダを作成することもできます）。
- ⑤パソコンのコンピュータ名（ネットワークで識別するためのフルコンピュータ名）を入力します。
- ⑥パソコンのバックアップ対象となる共有フォルダ名を入力します。例えば、「backup」という名前のフォルダを共有フォルダに設定している場合は、「¥backup」と入力します。
- ⑦パソコンにログインするときにパスワードを設定しているときは、チェックを付けてユーザ名とパスワードを入力します。
- ⑧バックアップするスケジュールを選択し、時刻を入力します（24 時間表示）。「無効」を選択すると、バックアップ画面で [バックアップ実行] をクリックするか、またはステータス画面で [開始] をクリックしたときだけ、バックアップを実行します。

4 「設定」をクリックします。

5 バックアップタスクが追加されたことを確認します。

バックアップ画面について詳しくは、P.54 「1.12.2 データバックアップ」をご覧ください。



以上で、パソコンのデータを本商品にバックアップする設定が完了しました。設定したスケジュールに従ってバックアップを実行します。

## 2.10.3 本商品のデータをパソコンにバックアップする

ここでは、本商品のデータを、同じネットワーク上にあるパソコンにバックアップする手順を例に説明します。

### ■パソコン側で共有フォルダを設定する

バックアップ先の共有フォルダを設定します。



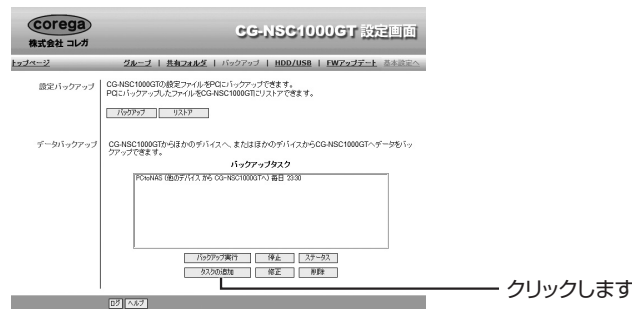
共有フォルダの設定について詳しくは、Windows のヘルプをご覧ください。「ファイル共有」「フォルダ共有」「共有フォルダ」などのキーワードで検索して、設定手順をご覧ください。

### ■バックアップタスクを設定する

バックアップタスクを作成します。

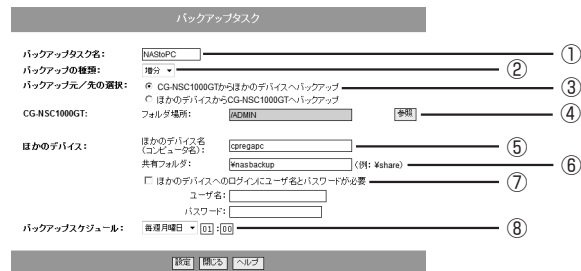
1 詳細設定－バックアップ画面を開きます。

## 2 [タスクの追加] をクリックします。



## 3 次のように設定します。

バックアップタスク画面について詳しくは、P.56 「■ バックアップタスク」をご覧ください。



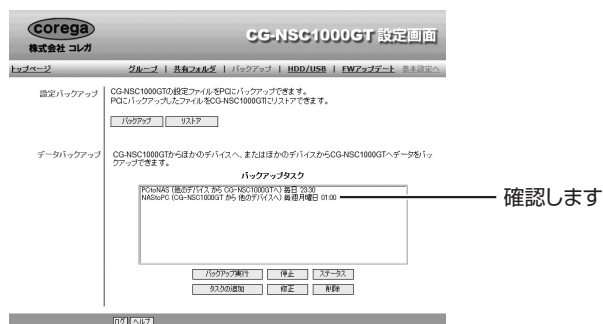
※画面は例です。

- ①バックアップタスク名を入力します。
- ②「完全」「増分」「同期」のいずれかを選択します。
- ③チェックを付けます。
- ④クリックして、本商品のバックアップ対象となるフォルダを選択します（新規フォルダを作成することもできます）。
- ⑤パソコンのコンピュータ名（ネットワークで識別するためのフルコンピュータ名）を入力します。
- ⑥パソコンのバックアップ先共有フォルダ名を入力します。例えば、「nasbackup」という名前のフォルダを共有フォルダに設定している場合は、「¥nasbackup」と入力します。
- ⑦パソコンにログインするときにパスワードを設定しているときは、チェックを付けてユーザ名とパスワードを入力します。
- ⑧バックアップするスケジュールを選択し、時刻を入力します（24 時間表示）。「無効」を選択すると、バックアップ画面で [バックアップ実行] をクリックするか、またはステータス画面で [開始] をクリックしたときだけ、バックアップを実行します。

## 4 [設定] をクリックします。

## 5 バックアップタスクが追加されたことを確認します。

バックアップ画面について詳しくは、P.54 「1.12.2 データバックアップ」をご覧ください。



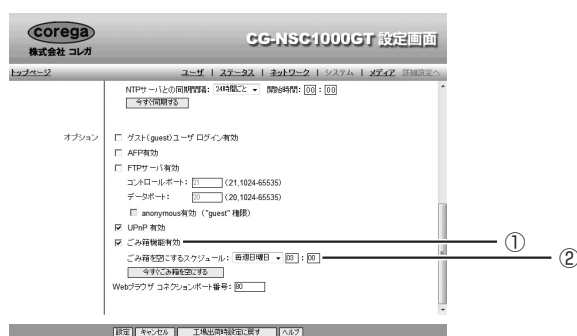
以上で、本商品のデータをパソコンにバックアップする設定が完了しました。設定したスケジュールに従ってバックアップを実行します。

## 2.11 ごみ箱機能を使う

ごみ箱機能を使うと、本商品から削除したデータを、各共有フォルダ内の「Recycle Bin」フォルダ（ごみ箱フォルダ）にファイルが移動します。ファイルは完全に削除されていないため、ごみ箱フォルダから元に戻すことができます。また、毎日決まった時間にごみ箱を空にするといったスケジュールも設定できます。

### ■ごみ箱機能を設定する

- 1 基本設定—システム画面を開きます。
- 2 次のように設定します。



- ①チェックを付けます。
- ②ごみ箱を空にするスケジュールを選択し、時刻を入力します（24 時間表示）。「無効」を選択すると、「今すぐごみ箱を空にする」をクリックしたときだけ、ごみ箱を空にします。

### 3 [設定] をクリックします。

以上で、ごみ箱機能の設定が完了しました。

共有フォルダ内にあるデータを削除すると、「Recycle Bin」フォルダにファイルが移動します。元に戻したいときは、「Recycle Bin」フォルダのファイルを元の場所にコピーしてください。

## 2.12 自動リブート（再起動）機能、自動シャットダウン機能を使う

自動リブート機能では、毎日決まった時間にリブートするといったスケジュールが設定できます。また、自動シャットダウン機能は、使用しない時間帯に自動的に電源を切ることができます。

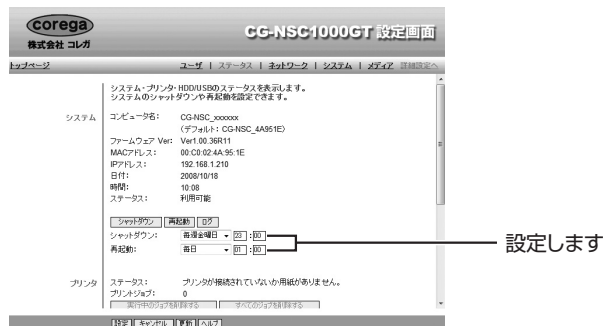


- ・自動リブート、自動シャットダウン、バックアップタスクのそれぞれのスケジュールが、重ならないように設定してください。自動リブートおよび自動シャットダウンは、本商品へのアクセスが完了したあとで実行されます。
- ・自動リブートのスケジュールと自動シャットダウンのスケジュールを同じ時刻に設定すると、自動シャットダウンが優先されます。シャットダウンした（電源が切れた状態になった）あとで、本商品を自動的に起動することはできません。電源ボタンを押して、電源を入れてください。

### ■自動リブート機能、自動シャットダウン機能を設定する

- 1 基本設定－ステータス画面を開きます。
- 2 自動的にリブートまたはシャットダウンするスケジュールを選択し、時刻を入力します（24 時間表示）。

「無効」を選択すると、「再起動」または「シャットダウン」をクリックしたときだけ、リブートまたはシャットダウンします。



- 3 「設定」をクリックします。

以上で、自動リブート機能、自動シャットダウン機能の設定が完了しました。



# 第3章

## こんなときはこの設定(サポート編)

本章では、本商品の各サポート機能の設定方法について説明します。

3.1	管理者のパスワードを設定する .....	110
3.2	設定をバックアップする/元に戻す .....	112
3.2.1	設定をバックアップファイルに保存する .....	112
3.2.2	設定を元に戻す .....	113
3.3	最新のファームウェアにアップデートする .....	116
3.4	工場出荷時の状態(初期値)に戻す .....	119
3.4.1	初期化ボタンで初期化する .....	119
3.4.2	設定画面で初期化する .....	120

## 3.1 管理者のパスワードを設定する

本商品のセキュリティを強化するため、管理者（admin）ユーザのパスワードを設定することをお勧めします。

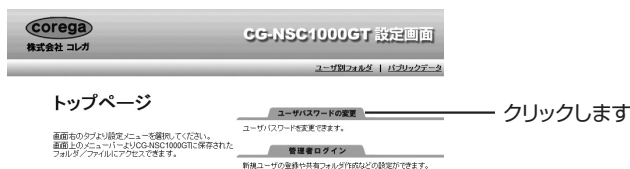


- ・新しく設定するパスワードを忘れてしまうと、本商品の設定画面を表示できなくなります。必ず、設定したパスワードをメモに控えておいてください。
- ・パスワードを忘れてしまった場合は、P.111 「■ パスワードを初期値に戻す」の手順で初期値（パスワードなし）に戻すことができます。

### ■パスワードを設定する

次の手順で、管理者ユーザ（admin）のパスワードを設定します。

- 1 本商品のトップページを開き、「ユーザパスワードの変更」をクリックします。

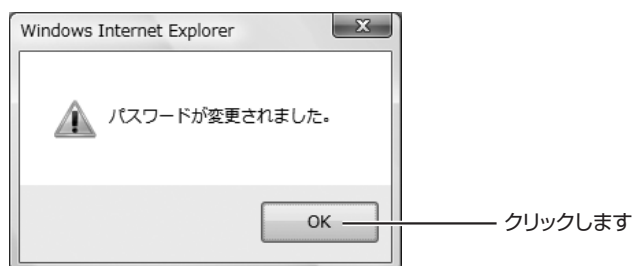


- 2 ユーザ名に「admin」と入力し、新しいパスワードを入力して、「設定」をクリックします。

パスワードは、半角英数字および記号で、16文字以内で入力してください。  
すでにパスワードを設定している場合で、パスワードを変更するときは、設定しているパスワードを「現在のパスワード」に入力してください。



### 3 [OK] をクリックします。



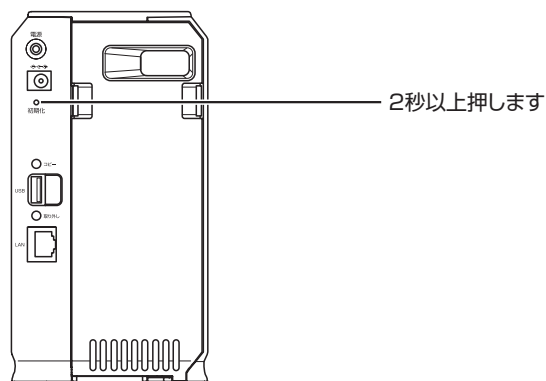
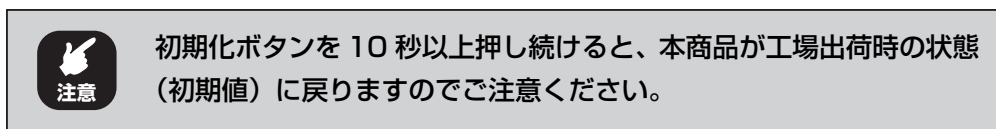
以上で、パスワードが設定できました。

### ■パスワードを初期値に戻す

次の手順で、管理者ユーザ(admin)のパスワードを初期値(パスワードなし)に戻すことができます。

#### 1 初期化ボタンを2秒以上押して、離します。

ピッという音がします。



以上で、パスワードが初期値(パスワードなし)に戻りました。

## 3.2 設定をバックアップする／元に戻す

本商品の設定をバックアップファイルに保存しておくことができます。また、バックアップファイルを使用して、本商品の設定をバックアップ時の状態に戻すことができます。



バックアップしたファイルは、同じバージョンのファームウェアでのみ使用できます。ファームウェアをバージョンアップする前には、設定内容をメモに控えておいてください。

### 3.2.1 設定をバックアップファイルに保存する

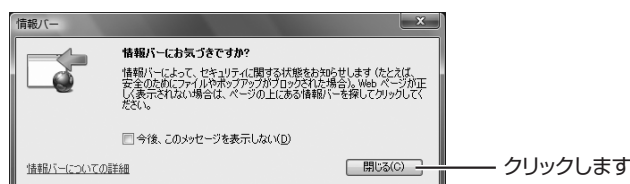
ここでは、Windows Vista で Internet Explorer 7 の画面を例に説明します。

- 1 詳細設定－バックアップ画面を開きます。
- 2 [バックアップ] をクリックします。

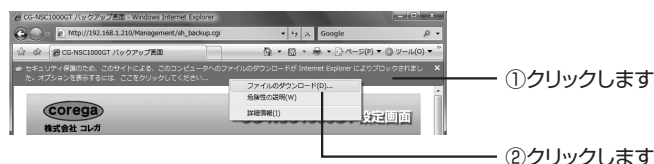


- 3 次の画面が表示されたら、[閉じる] をクリックします。

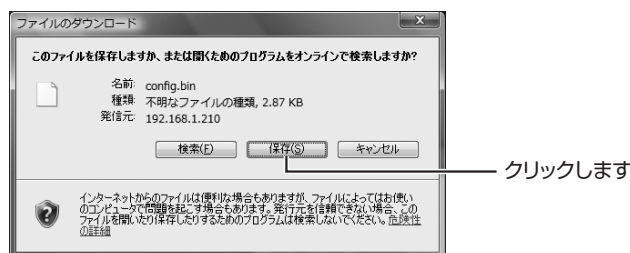
表示されない場合は手順 4 に進みます。



- 4 表示された情報バーをクリックし、「ファイルのダウンロード」をクリックします。



## 5 [保存] をクリックします。

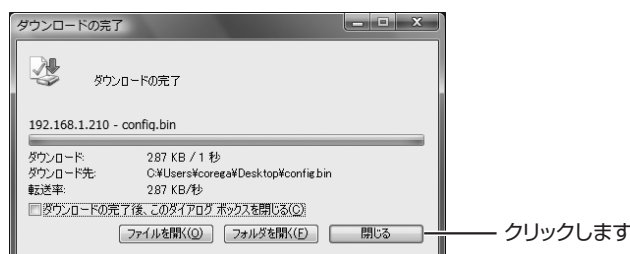


## 6 保存先を指定して、[保存] をクリックします。



※画面はデスクトップに保存する例です。

## 7 [閉じる] をクリックします。



以上で、バックアップファイルが保存できました。

### 3.2.2 設定を元に戻す

バックアップファイルを使用して、本商品の設定をバックアップ時の状態に戻します。



注意

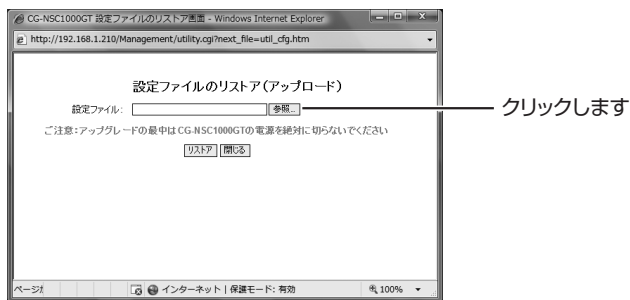
設定を元に戻す前に、本商品にアクセスしていないことを確認してください。データが破損するおそれがあります。

#### 1 詳細設定－バックアップ画面を開きます。

## 2 [リストア] をクリックします。



## 3 [参照] をクリックします。

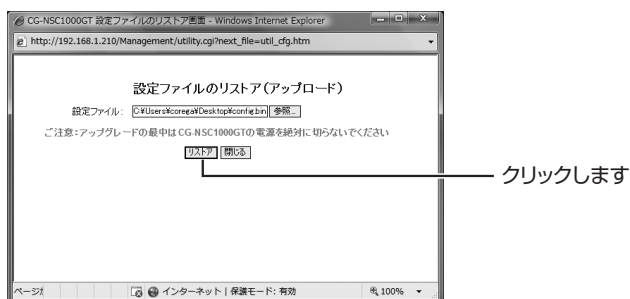


## 4 バックアップファイルを選択して、[開く] をクリックします。

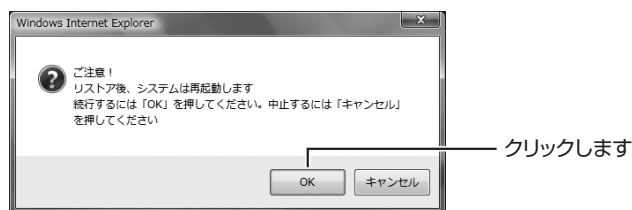


※画面は例です。

## 5 [リストア] をクリックします。



## 6 [OK] をクリックします。



## 7 本商品にアクセスしていないことを確認して、[OK] をクリックします。

30 秒後に再起動します。



## 8 [閉じる] をクリックしてリストア画面を閉じます。

以上で、設定が元に戻りました。

## 3.3 最新のファームウェアにアップデートする

本商品の機能強化のため予告なくファームウェアをバージョンアップすることがあります。最新のファームウェアはコレガホームページ (<http://corega.jp/>) から入手してください。



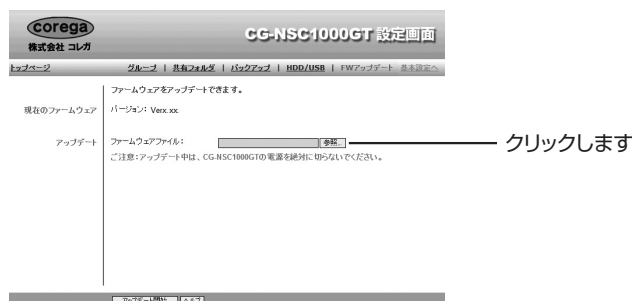
- ・ファームウェアをアップデート中は、絶対に本商品の電源を切らないでください。また、設定画面のほかの操作をしたり、アプリケーションを起動したりしないでください。ファームウェアのアップデートに失敗すると、本商品の故障の原因になります。
- ・ファームウェアをアップデートする前に、本商品にアクセスしていないことを確認してください。データが破損するおそれがあります。
- ・ファームウェアをアップデートする前に、本商品の設定内容をメモに控えておいてください。
- ・セキュリティソフトを使用している場合、ファームウェアをアップデートする前にセキュリティソフトを停止してください。ファームウェアをアップデートしたあとに、セキュリティソフトを元に戻してください。セキュリティソフトの停止方法については、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご覧ください。



- ・ファームウェアをアップデートする前に、コレガホームページ (<http://corega.jp/>) から最新のファームウェアをダウンロードしてください（提供時期は未定です）。
- ・ダウンロードしたファイルは圧縮されているため、解凍する必要があります。ファイルをダブルクリックして、解凍してください。

次の手順でファームウェアをアップデートします。

- 1 詳細設定－FW アップデート画面を開きます。
- 2 [参照] をクリックします。



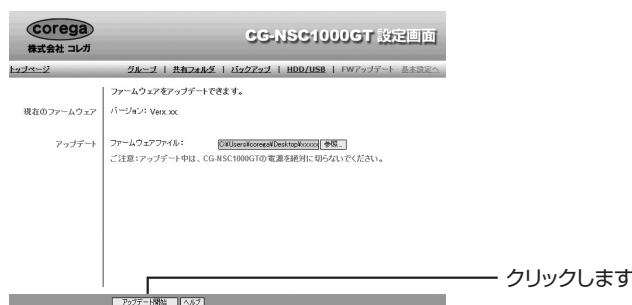


### 3 ファームウェアファイルを選択して、[開く] をクリックします。



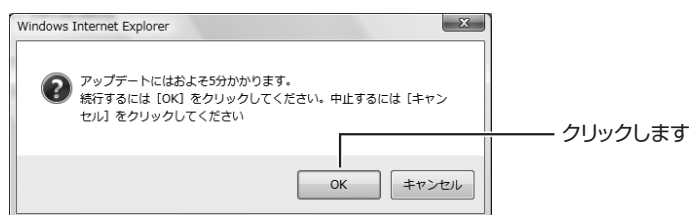
※画面は例です。

### 4 [アップデート開始] をクリックします。



### 5 [OK] をクリックします。

アップデートが始まります。



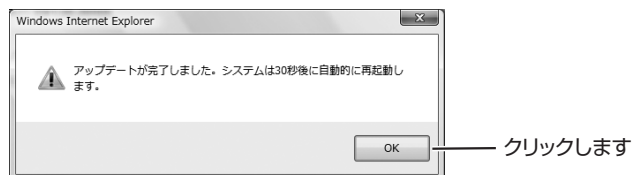
### 6 アップデート中は進行状況が表示されます。手順7の画面が表示されるまでお待ちください。



---

## 7 [OK] をクリックします。

30 秒後に再起動します。



以上で、ファームウェアのアップデートは完了です。

## 3.4 工場出荷時の状態（初期値）に戻す

本商品を初期化して工場出荷時の状態に戻せます。工場出荷時の状態に戻すには次の方法があります。

👉 P.119 「3.4.1 初期化ボタンで初期化する」

👉 P.120 「3.4.2 設定画面で初期化する」



- ・本商品を初期化する前に、本商品にアクセスしていないことを確認してください。データが破損するおそれがあります。
- ・本商品を初期化すると、今まで設定した内容が初期値に戻ります。重要な設定をしている場合は、設定内容をメモに控えたり、設定のバックアップを取ったりしてください。

👉 P.112 「3.2 設定をバックアップする／元に戻す」



次の設定は初期化されません。

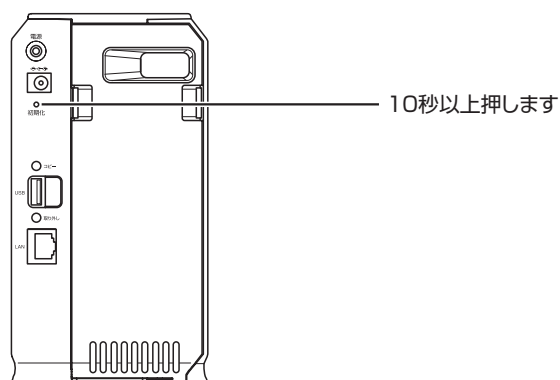
- ・日時
- ・ユーザ
- ・グループ
- ・共有フォルダ

### 3.4.1 初期化ボタンで初期化する

次の手順で初期化します。

#### 1 初期化ボタンを 10 秒以上押して、離します。

ピッという音が 2 回します。

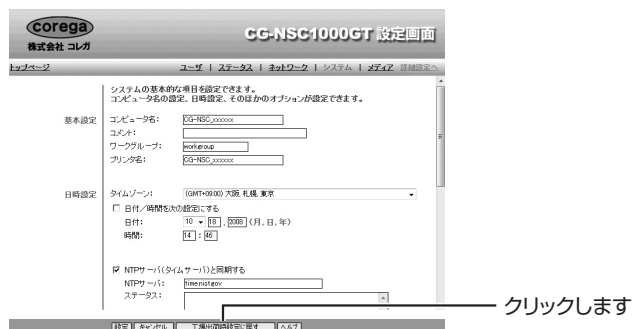


以上で、本商品が初期化されました。

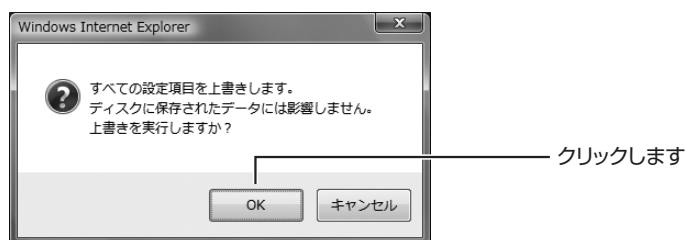
## 3.4.2 設定画面で初期化する

次の手順で初期化します。

- 1 基本設定－システム画面を開きます。
- 2 [工場出荷時設定に戻す] をクリックします。



- 3 [OK] をクリックします。



以上で、本商品が初期化されました。

# おことわり

---

- ・本書は株式会社コレガが作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- ・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- ・改良のため商品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品は、GNU General Public License Version 2 に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundation が定めた GNU General Public License Version 2 の条件に従ってこれらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思いますが、頒布にあたっては、市場性及び特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証もしません。詳細については、コレガホームページ内の「GNU 一般公有使用許諾書（GNU General Public License）」をお読みください。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、コレガホームページ、サポート情報内の個別製品の「ダウンロード情報」をご覧ください。配布時に発生する費用はお客様のご負担になります。

Copyright©2008 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Macintosh、Mac OS、Safari、iTunes は、Apple Inc. の登録商標または商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2008年 10月 初版

2008年 12月 第二版